〔大正九年十月二十日第三種郵便物認可〕

新京日日新聞

夕刊　十二月二十三日

本紙一部五錢　定價（郵税）一ヶ月壹圓　廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話（編輯局專用③三三〇五　營業局專用③三三〇〇）

發行人　十河榮忠　編輯人　松本勇　印刷人　水越内之介

近衛首相の聲明

防共盟邦全幅的贊意

東亞新秩序の確立に　その熱意を喜ぶ

日滿支三國提携愈よ具體化

日支國交調整に關する日本帝國の態度は廿二日近衛首相談の形式を以て中外に闡明されたが、當地各方面では今回の聲明は日滿支三國の提携による東亞新體制確立の具體的方策が極めて明快率直に現はれてゐるものとして日本政府の方針に全幅の好感を寄せてゐる、即ち滿洲國發展の現實に強いて眼を覆ふの愚を敢てする頑迷支那に對し滿洲國との完全なる國交を修めんことを勸告すると共に防共協定の締結、日本軍の防共駐屯及び内蒙地方を特殊地域とすべきことを要求、且つ日支平等の原則に立つ經濟提携に言及して東亞新體制の行くべき道を明瞭にした點は今後の日支國交調整に新進路を示したものとして注目さるべきであり殊に支那の獨立助成のためには治外法權の撤廢、租界の返還をさへ行ふ用意ある旨を述べたことは日本の態度が如何に東亞新秩序の確立に熱意を示してゐるかゞ窺はれ、明朗東亞建設の一翼を擔ふ滿洲國としても日滿一體の見地に立脚、聲明の趣旨徹底に積極的な支援を行ふ決意を固めてゐる

滿洲國外務當局談

滿洲國外務當局は廿二日午後九時三十分の近衛聲明に對し左の如き當局談を發表した

今や東亞再建の大事業展開せられつゝあるの秋に當りわが滿洲國の對外方針の基調は日滿一德一心不可分の盟約の眞義を發揚すると共に新支那と密に相提携し以て政治に經濟に將又文化に新秩序の建設に協力邁進するにあることは言を俟たない、而してこれが實行の第一に考慮せらるべきは今次近衛首相の聲明せられたる通り容共抗日、西力依存その他あらゆる從來の謬見を脱却したる更生支那との國交關係を調整して永久的和親の基礎を固めると共に人類文化の最大仇敵たる共產「インターナショナル」の驅逐排擊の大義に協力するにあるところ我滿洲國は滿腔の熱意をもつてこれが一刻も速かなる實現を希求するものである、歐米列強が門戸開放の名に隱れ今なほ容共蔣政權を援助して我利を全うせんとするの兆明らかなりとの報頻々たる今日盟邦首相の決然且つ示唆多き聲明を再び聞くは吾人の頗る力強さを感ずるところにして堅忍持久萬難を排して東亞再建の大事業に協力する我滿洲國の決意を益々牢固ならしむるものである

張國務總理談

近衛首相の東亞新秩序建設方針聲明に對し張國務總理は左の如き談話を發表した

今日近衛首相が發表せられたる東亞新秩序建設に關する聲明は洵に日滿兩國の信念とするところを率直に眞摯に表現したるものであつて滿洲國としてもこれに對し完全なる同意と無限の敬意を表する次第である、殊に百萬の兵を動かし數萬の尊き犠牲の血をもつて贏ちたる聖戰のあとになほその相手方であるべき支那に對して何等求むるところ無く却つてこれがため無限の同情と理解とを表明し、その回復と健全なる發達のために治外法權及び租界の處置の點にまで言及せることは洵にこれこそ東方道義の宛らの表現である、利害のみによつて終始する今日の世界外交界の現狀にとつてまことに空谷の跫音を聞くの感がある、支那四億の民もこの率直にして眞實に溢るゝ聲明を見て既に日本と事を共にせるものは益々その志を堅くし無明の闇に今なほ彷徨せる者も悪夢より醒めずには居られないであらう、これ實に東方道義に基く新秩序を世界に聲明する大文字であつてやがてまた來るべき世界の道義革命の曉鐘と云ふべきものである、余はまたこゝに滿洲國建國の當時日本帝國の壯絶にして公明なる態度を思ひ起しまた建國後七年の間渝ることなき友愛、哺育の大恩を思ひ今さらながら無限の感謝を日本帝國の上下に致すと共にこの同じ決心と友愛の念をもつて育くまれんとする新支那ならびにその四億の國民のために無限の祝福の意を表せずには居られぬ、なほ今次聲明中示されたる日本國のあくまで我國の健全なる發達を護持せんとする熱意に對しては重ねて感謝の意を表するとともに我國民たるものいよ〱一德一心共同防衛の大義に則り一路理想の達成に邁進すべき責務を痛感せざるを得ぬ、これ余の衷心の感懷である

首相の聲明と　金融産業界の見解

【東京國通】今次の近衛内閣總理大臣談に關し金融界、産業界一般の意向を綜合するに聲明がその冒頭において支那各地においても東亞新秩序の建設に向つて邁進せんとする機運の熟しつゝあることを感知せしめ、且つこの際帝國と更生新支那の關係を調整すべき根本方針を内外に闡明したことは眞に時宜を得たものにして澎湃たる新支那の建設機運を助長するは勿論、從來わが國の眞意に對する認識を缺如せる海外諸國の曲解を一掃する上においても有效であるとしてゐる、しかして聲明内容が從來の政府聲明に數歩を進めて一層具體的なことは財界としても最も重大視してゐるが先づ日滿支が善隣友好、共同防共、經濟提携の實を擧げるためには滿洲國との修好を率直に要望し、日支防共協定の締結を日支新國交調整上要緊の要件として指摘してゐることは極めて當然であるとしてゐる、次いで日支經濟關係に關してもわが國が支那を經濟的に獨占せんとする意圖を有せざることならびに東亞の新事態を理解する善意の第三國の利益の制限を要求するものにあらざることを端的に述べたることは今日に至つてなほ沒落蔣政權に對し財政的軍事的援助を與へんとする英米佛に對してはまさに頂門の一針とも稱し得べく、また聲明が日支平等の原則を樹て特に日支間の歴史的、經濟的關係に立脚し北支および内蒙地域の特殊性のみを要求してゐることは列國も遲疑なく容認し得べき最小限度の要求であるとしてゐる、しかしながら今次の聲明は未だ單に事變解決の方向がとみに具體化しつゝあることを示すに止まり、むしろ長期建設の困難は今後に屬し、したがつて軍需ならびに建設資材に對する物資需要の増大これが圓滑なる供給を確保すべき輸入力生産能力の増強また長年月にわたつて累積すべき公債の消化等財界金融界の負擔と責任またいよ〱重大となることを覺悟すべきであるとし、一層國策に協力せんとする決意を表明してゐる

防共の線に沿つて明確な國策闡明

ドイツ官邊滿腔の贊意

【ベルリン廿二日發國通】近衛首相の聲明に對するベルリン政界の印象は日本の亞防東共新體制の樹立をドイツは滿腔より贊同支持するといふにある、近衛首相の聲明内容はDMB通信社を通じやうやく廿二日夕刻政府及び各新聞社へ配付されたゝめ政府筋の公式發表はまだないが、政界消息筋では今回の聲明をもつて事變勃發以來もつとも明瞭に日本の態度を表明かつ防共の線にそつて明確な國策を闡明したものとして極めて重要視してゐる

イタリー政府

【ローマ廿二日發國通】新東亞建設に關する近衛首相聲明に對しイタリー官邊は未だ批評を公表してないが、ローマ政界有力筋の意向を綜合するにイタリーは日本の立場を全幅的支持するに止らず進んで日本に助力せんとの好意的態度に一致してゐる、即ち共產主義を追放して東亞全局の安定を圖り東亞に新秩序を確立せんとする日本の根本國策に對してはイタリーは最初から全幅的の贊意を表してをり日滿兩國及び新支那三國間に可及的速かに特殊關係の確立されるのを期待してゐる

貴衆兩院各派現勢

【東京國通】第七十四議會召集を前にして廿三日現在の貴衆兩院各派の人員は左の如くである

△貴族院

會派	人員
皇族	一六方
研究會	一六一名
同成會	二一名
公正會	六九名
交友倶樂部	三五名
同和會	三一名
火曜會	四四名
無所屬	三六名

△衆議院

會派	人員
民政黨	一七八名
政友會	一七〇名
第一議員倶樂部	四六名
社會大衆黨	三五名
第二控室	一三名
東方會	一二名
無所屬	六〇名
缺員	六名

地方長官異動

【東京國通】伊東文部次官の辭任に伴ふ地方長官の異動は廿三日の閣議で次の如く決定上奏御裁可を仰ぎ即日發令された

任文部次官　北海道廳長官　石黑英彦

任北海道廳長官　神奈川縣知事　半井清

任神奈川縣知事　長野縣知事　大村清一

任長野縣知事　前警保局長　宮田健治

依願免本官　文部次官　伊東延吉

高射砲隊を指揮した某外人顧問

支那軍の無秩序に愛想づかし

【上海廿二日發國通】事變勃發以來國民政府の防空關係軍事顧問に就任し主として廣東に在つて過る五、六月のわが廣東大爆擊の際、敵高射砲隊を指揮してゐた一外國人（國籍氏名を特に秘す）が支那軍の無秩序振りに愛想をつかして歸國の途次〇〇においてわが海軍特務部報道課長光延中佐、陸軍特務部西原大尉と會見したが、以下はその問答である、なほ光延中佐は廣東爆擊當時右爆擊に參加した海の荒鷲〇〇隊指揮官として活躍した人である

光延　廣東では日本軍飛行機は幾つやられましたか

外人　一つもやられなかつた、尤も君等が盛んに射つて來るので相當ひどい目にあつた機もある、エンヂンのみに十發あたつて歸つては來たもののそのまゝ動けなくなつたり、また飛行機の腹のことだが百卅八發の彈丸をうけていのちからがら歸還した機もあつた

光延　その話は初耳だ、驚いた

外人　廣東では敵機を相當やつたつもりだが如何か

光延　隨分やられた、組立てたばかりのマルチン重爆をやられた時などは相當參つた

外人　英國製グラヂエーター機が一向出て來なかつたやうだね

光延　實は卅機入荷したのだが支那人操縱士が外人教官のいふことをきかず勝手に動かして廿六機は離陸のやりそこなひで壞してしまつた、役に立つたのは四機だけだ、自分も日本の爆擊では慘々な目に遭つてゐる、白雲山陣地では私のところに爆彈が命中して傍にゐた支那人中佐が即死した

光延　南支ではもつと支那空軍が應戰すると思つたが案外少なかつたね

外人　廣東空軍は廣東人が建設したものだ、それを蔣介石は武漢防備にすべてを取つてしまつたので廣東では不平滿々だつた

光延　廣東における支那軍の士氣は如何だつたか

外人　廣東陷落のとき私は三水に居たが退却して來る支那軍士官に廣東の形勢は如何と問ふと「今頃廣東に殘つてゐる奴は大馬鹿だ」と言ふ返事だつた、尤も當時廣東軍の精銳は悉く武漢、揚子江一帶に廻されてゐたため殘つたのは主として保安隊だつた

光延　廣東では非戰鬪員が殺されたと支那で頻りに宣傳してゐるが君の見たところは如何か

外人　支那新聞はでたらめだ、戰線で死んだ支那兵の死體を入れた函をわざ〱市街にならべてこれを非戰鬪員の死體と稱して外國人記者に見せてゐるのだ、日本軍の爆擊はうまくなる一方だ、私が長沙にゐるとき軍事施設爆擊があつたが正確に目標に當り非戰鬪員には一人も死傷者を出さなかつた、しかるに香港へ歸つて見ると日本軍が長沙の住宅を盲爆したことになつてゐる、あの宣傳ぶりにはあきれるのほかはない

光延　現在支那軍には外人どの位ゐるか

外人　確かには判らないが私の知るところではソ聯飛行士五十名位がせい〱のところと思ふ

▽…廣東治維會成立發會式

人事往來

着京

▲桑原利英氏（會社員）二十二日東京ヤマトホテル ▲倉川完吾氏（同）同 ▲井戸川光隆氏（海運業）國都ホテル ▲本田僕助氏（鑛業）同 ▲新郷米吉氏（機械製作）同 ▲江副堅一氏（商業）同 ▲藤原秀則氏（豆粕パルプ）同 ▲蒲地德一氏（會社員）同 ▲海野五郎氏（同）同 ▲齋藤寅吉氏（興業銀行）同 ▲中川豐治氏（貿易商）同 ▲瀨戸主計氏（東綿公司）同 ▲小坂通明氏（貿易商）同 ▲深水浩氏（會社員）中央ホテル ▲島井讓吉氏（同）同 ▲小林義和氏（書家）同 ▲西尾三郎氏（官吏）滿蒙ホテル ▲河合通之助氏（鑛業）同 ▲鍋田豐治氏（滿日社員）同 ▲早坂不二雄氏（木材商）同 ▲渡邊之明氏（官吏）同 ▲水津利雄氏（昭和製鋼）同 ▲齋藤清易氏（會社員）ニューアジアホテル ▲有賀松夫氏（同）同 ▲米原嘉明氏（同）同 ▲坂本登氏（官吏）大都ホテル ▲内田陽氏（同）同 ▲松尾四郎氏（滿鐵社員）同 ▲村松謙則氏（會社員）同 ▲小橋壽助氏（同）同 ▲岸水喜三郎氏（官吏）同 ▲宇佐美勇喜氏（同）同 ▲松本寅彦氏（商業）同 ▲古館純也氏（官吏）同 ▲西村正雄氏（機械業）三國ホテル ▲初瀨幸成氏（畜産）同 ▲山下行男氏（自動車業）都ホテル ▲菊地茂氏（會社員）同 ▲土田喜三郎氏（同）同 ▲川上松太郎氏（請負業）同 ▲川口俊惠氏（石炭商）帝都ホテル ▲李基若氏（吉林産業組合長）同 ▲廣瀨賴司氏（請負業）同 ▲園木謙吾氏（經理科長）同 ▲星野仙莊氏（劍道教師）同 ▲木下秀敎氏（滿洲林業）同 ▲秋月清三郎氏（協進商事）同

出發

▲中野高一氏 二十二日吉林へ ▲山西恒郎氏 東京へ ▲宇佐美喬爾氏 哈市へ ▲磯野長藏氏 大連へ ▲三宅熊太氏 奉天へ ▲河野光氏 同 ▲深久康氏 同 ▲久田部保吉氏 哈市へ ▲上野小四氏 延吉へ ▲三苫潔三氏 奉天へ ▲白木兄美氏 同 ▲工藤雄助氏 同 ▲染川謙四郎氏 同 ▲今野清次氏 同 ▲根本行雄氏 同 ▲吉村力氏 哈市へ ▲羽島長四郎氏 延吉へ ▲小堀丹原氏 奉天へ ▲近藤五郎氏 大連へ ▲德島房次郎氏 奉天へ ▲長井卓夫氏 東京へ ▲若林半氏 同 ▲山本三郎氏 奉天へ ▲竹中末夫氏 白城子へ ▲伊藤　氏 大連へ ▲岩淵一雄氏 奉天へ ▲三浦悟一氏 大連へ ▲淺井榮治郎氏 奉天へ ▲金田三郎氏 同 ▲兒玉廣治氏 依蘭へ ▲鹽見友之助氏 東京へ ▲別府良夫氏 大連へ ▲河崎幸次郎氏 哈市へ ▲龜岡精二氏 奉天へ ▲向井俊郎氏 山海關へ ▲山口正雄氏 同 ▲川南秀造氏 京城へ ▲村井矢之助氏 奉天へ ▲上杉恒榮氏 奉天へ ▲伊葉庄七氏 同 ▲吉田政治郎氏 同 ▲廣瀨重太郎氏 同

その日〱

□ 正々堂々、日本が向はんとする方途は首相聲明によつて明らかにされた

□ 新しき東亞の秩序へ、その具體的プログラムは斯くて成つた

□ 支那の民よ抗日の夢を醒ませ、世界もまた眼を洗つて新事態を見よ

□ 首相聲明に滿洲國についてはつきりと說く、喜んで使命の重きを擔はう

□ 新稅法公布さる、時勢の要求と民生の希望との調整振りを見よう

皇太子殿下御近影

（五月五日御端午の御節句）宮內省御貸下

皇太子殿下
けふ第五回の御誕辰

【東京國通】皇太子繼宮明仁親王殿下には廿三日御目出度く第五回の御誕辰を迎へさせられる、こ の佳辰に天皇、皇后兩陛下の思召により御內祝宴などは御取止め遊ばされると承るは畏き極みである殿下には昨今御心身とも に愈々御健やかにわたらせられ、御體重、御身長とも一般の標準を凌駕せられると承る、御日常は每週水土兩曜日には女子學習院幼稚園の幼兒を御相手に御遊戲、御唱歌を御活潑に遊ばされて手工も御見事に遊ばされる、二輪車も御上手に御操縱になり御平常は二輪車や足踏みの自動車でお遊びになり、また御苑內の御散策には小山に登らせられ或は芝生のスロープをすべらせられ、木登りも遊ばすなど自然な御相手に一般家庭の兒童と變らせられぬ御鍛錬を遊ばしてゐられる、音樂は莊重なものを好ませ給ひ繪本などにも御理解深く御智育は殊に優れさせ給ふと承る、每朝御拜所にて御遙拜遊ばされ、每週日曜には宮城に御參內、天機ならびに御機嫌を御伺ひ遊ばされ、その他每日の御生活は極めて規律正しくわたらせられる なほ新年は御所にて御迎へになり、一月十日前後から葉山御用邸に行啓の御豫定と承る

運搬途中を捕へ
石炭の量目檢査
不正商人、馬車夫を一齊檢擧
慌しい歲末に備ふ保安陣

年末殺到な折柄、暴利を貪らんとする奸商に嚴重監視の眼を光らせ經濟警察の威力を嚴と示してゐる首警保安科では權度檢定所と協力冬期市民の生命とも言ふべき石炭の不正納入即ち量目をかすめる不良石炭商及び運搬夫を斷乎摘發すべく二十二日、二十三日の兩日に亘り管下各署保安係員を動員一齊檢査を實施、係員は酷寒の街頭に進出して運搬途中の石炭に對し一々量目を計り突如の檢査は運搬夫を至極狼狽させたが量目の不足した不正納入品は多數あると見られてゐる

京中央郵政局では三萬千百八十五通と昨年の四萬二千八百五十二通に比して一萬一千の減少を示し、これに奉天、哈爾濱、錦州各中央郵政局を加へると二日間で九萬八千二百七十七通と昨年の十一萬八千四百八十八通に比較して約二萬通の減少振りである、郵政總局では在滿同胞の増加のため昨年の受付數の千百十萬以上に上るものと豫想し準備を進めてゐるが二日間の各地取扱數は左の通りである（括弧內は昨年同日數）

新京中央郵政局三一、一八五（四二八五二）奉天二八、〇六四（五一六二二）哈爾濱三五、三九三（一八八五五）錦州三六三五（五一〇九）

汪淸、北荒間鐵道
明春假營業開始

鐵道總局では汪淸、南荒嶺間假營業線の列車運轉時刻を左の通り改正、明年一月一日より實施することゝなつた、右は東部滿洲開發に伴ふ同線經由の旅客激增に備へたもので圖佳線各列車との接續に便宜がはかられてゐる

△下り混合一一列車
汪　淸發　一一時三〇分
北荒嶺着　一七時〇二分
△上り混合一二列車
北荒嶺發　七時四五分
汪　淸着　一二時四五分

愛國の至情を
披瀝して
陣中の勇士が國防獻金

冀東地區で匪賊討伐にあたつてゐる一兵士が愛國の至情切々たる手紙に添へ國防獻金として金廿圓を新京憲兵分隊に寄託して來た、この兵士は目下冀東地區密雲に駐屯してゐる〇〇部隊の衞生一等兵濱鎭茂君で、手紙にはまづ同君の實兄道鎭久君が南支派遣軍の〇〇部隊に應召して出征、廣東攻略に際し名譽の戰死を遂げた旨が述べられ兄が應召後充分な働きもせずに戰死したことは弟として皇國のため非常に相濟まないと考へてゐます、私は現在冀東地區に在つて討匪

手斧強盜
屆出は十二回だが
犯行は廿四回
犯人の自白した馬車夫被害

客馬車夫を戰慄せしめた手斧強盜犯人王占泰及吳玉珍兩名は逮捕以來首警司法科に於て嚴重取調べ中であつたが、取調べの進展につれて餘罪續々發覺、大膽不敵の行動は係官をして今さらの如く驚然とせしめてゐる、即ち客馬車夫の襲擊は去月二十二日をトップに警察へ屆出あつた前後十二回と見られてゐたが犯人の自白によると鐵北發電所附近で三回、日の出町六丁目二三泰橋で六回、新華街で一回、忠靈塔附近で八回、三宅牧場附近で三回その他三回計廿四回の犯行を重ねいづれも同一手口で一夜に三回も襲つたと言ふ不敵さであつた被害額は總計七、八十圓と見られてゐるが犯行後は新天地双鳳堂に趣き馴染女妓女鴻蘭と戲れてゐたものであつた、司法科では未屆被害者に對し至急屆出を要望してゐる

子供の家の
作品で勇士慰問

冬期兒童の樂園新京滿鐵子供の家は開設以來每日五十餘名の兒童が子供の天國を現出してゐるがこの兒童たちは二十五日午前十時から各自製作した圖畫、綴方などを携へて近くの新京陸軍病院を訪問して白衣の勇士をお見舞することになつた

く傳達嚴肅裡に閉式した

心臓の弱い神鹿
新京着は遲れる
京吉街道をトラックで膝栗毛

吉林小白山の神鹿が南嶺の大動植物園に來るといふので新京特別市公署營繕科では南嶺の工事現場員を督勵して大至急外柵を造り何時でもこいと待つてゐるのだが何しろ足が速く二十二日迄に漸く一頭を捕へただけである、全部で二十頭揃つたらトラック四台で石高貴な動物だけあつて滿洲生れにも似合はず非常に心臓が弱く運搬に困難を來して豫定が狂つたといふ事實が判明した、最初市公署では大事をとつて國際運輸に一切を依賴

高貴

なお嫁さんを迎

分乘

せしめスピードを出すと元來心臓の弱いこの神鹿は忍ち心臓

黑瀨敎諭告別

生徒達の溫かい輸血の甲斐無く廿二日死亡した新京商業黑瀨四郞敎諭の告別式は二十四日午後一時より同校

とゝなつた

國婦大和分會員
歲末の勇士慰問
あす新舞踊や寸劇等で

この一年間國防婦人會が熱誠こめた種々の慰問で新京陸軍病院の白衣の勇士から國防の小母さんとして喜ばれてゐるが、病床に淋しく越年する勇士達を慰める爲本年最後の慰問として新京支部大和分會では二十四日午後一時から分會員達の努力になる新舞踊や寸劇で大いに喜ばせることゝなつてゐる

國婦納の役員會

國防婦人會新京支部では二十四日午前十一時より國防會館で本年最後の分會長、役員會議を開催、明年の事業計畫を中心に左の件を附議する
一、慰問袋募集成績報告の件
一、康德六年度支部事業に關する件

年賀郵便
取扱狀況

御下賜金傳達式

"勝つて來いよ"と
勇ましい
選手推戴式
新京商業氷上遠征軍歡送

自動車五新路線
廿五日營業開始

國都日滿人
小賣商の業態

陸士卒業の
留學優秀軍官

警務司敎養督察科長に三宅氏

警護隊長更迭

佐藤主計
中佐來社

兒玉滿航社長

ことぶき獻金

金光敎會寄附

寄附

あす（廿四日）
主なる放送

關東局警察

晝夜用心記（五〇）

三村伸太郎・作
木下大雍・畫

しがらみ草紙（八）

『山下氏、少し、口が過ぎはせぬか――』、

安積と呼ばれた浪人者は、ぢろりと、茂兵衛を睨んで、かう言つた……

先刻から、この浪人者が、默つて、飲んでゐる時にも、妙に無氣味なものが、その身邊に、漂ふてゐるのであるが――また、茂兵衛を呼びかけたその聲の中にも、その動作の中にも、なにか、人に迫るやうな無氣味なものがある。

一座は、きうに、水を打つたやうにしんとなる。

と、山下茂兵衛は、案外に平氣な顔を、醉眼を、その浪人者の方に、向けた。

『ほう、これは安積氏……何か、お氣に召さんことでもありましたかな』

『場所柄を辨へて、貰ひたい

少し、座興が過ぎる――』

ぶつりと、かういふ。

『さ、言ひますと、何か……』

山下茂兵衛は、まともに、これに、ぶつかる氣勢を示してゐるのである。

浪人者達も、この安積には一目も二目も置いてゐることは、その態度でも、分かる。恐ろしい人物であることは、想像が出來る。

が、茂兵衛が、酒を飲んだ時には、不敵である……彼の眼中には、恐るべき何物も、ないらしい。

『座興が、過ぎるとは、どういふ理由でございますかな』

『下らん……』

と、安積は、噛んで吐き出すやうにいつた。

『町人などを相手に、何事だ……戯れるにも、ほどがある……仲間に入れなど、勤王倒幕の我等の志は、左樣な……』

『は、あ、左樣か……』

山下茂兵衛は、わざと、相手を首肯らすやうな態度を示して見せる。鼻の先に、ふゝんと、冷笑を浮べたのである

『これは、また、妙な事を承るものですな……勤王と申せ倒幕と申せ、何も、我等武士ばかりの特權ではござるまい。忠と言ひ、義と申すべきものも、何も、武士ばかりの獨占ではござるまい。あるべきものを有るようにするのが、これを大義名分といふ。されば上御一人を尊ぶべきことは、何も武士ばかりの職分ではなく、日本國中の町人百姓等の當然の心得と存ずるが……これに馳せ參じて、御異存があることは、山下茂兵衛、近頃甚だ腑に落ちかねること……』

山下茂兵衛、ふんと、小鼻をふくらして、かう言つたものである。

『…………』

安積は、默つて、盃をふくむでゐる。

……甚だ、危險な沈默である。

と、原田といふ浪人者が

『山下氏、まあい々……貴公も、ちと、口が多過ぎるよ』

『何……いかんかな』

茂兵衛は、最前から、舟次郎の手を握つたまゝである……

『然しだな、原田氏……拙者この頃、ご貴殿方のやり方に多少の遺憾を覺えるのは、これだ……これらの存在をお忘れになつてゐることだ……』

茂兵衛は、ふらふらと、醉白さうに、舟次郎の手をふつたものである。

『何も、武士ばかりが天下を支配するものだとは、限つてはをりませぬぞ。さういふ考へが、ひとりよがりで、高ぶり過ぎてゐる。武士のほかには、大多數の町人もあれば、百姓もある』

茂兵衛は、言葉のはづみか聲が大きくなる。

『町人の中でも、此奴の如きは……泥棒稼業でも、ござらうか、しかし、その性根は、なかなか、立派でもあるし、あに、あえてだ……武士にも劣るまじき……』

『うるさいツ。戸外に、出ろ……』

安積は、ぶつり、かう言つて立ち上つた……。

商況欄 三日前場

海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	七磅九志〇〇
紐育金塊	三五弗〇〇
倫敦銀塊	二〇片一六分一〇
同先物	一九片一六分七
紐育銀塊	四二仙四分三
孟買銀塊	五一留比八分一

市俄古小麥

限月	相場
十二月限	六四仙二分一
五月限	六六仙八分七
七月限	六六仙八分五

紐育棉花

限月	相場
現物	八仙八五
一月限	八仙三一
三月限	八仙四〇
五月限	八仙二一
七月限	七仙九二
九月限	七仙六一
十二月限	七仙六五

印棉

品目	相場
ブローチ	一五八留比二分一
オームラ	一四六留比八分七
ベンゴール	一二一留比四分三

カルカッタ麻袋

品目	相場
鐵筋	二四留比〇〇
青筋	二六留比八分五

紐育株式

品目	相場
スチール株	六六弗〇〇
アナゴンダ株	三三弗八分五

外國爲替

品目	相場
米英爲替	四弗六六仙一六分九
米日爲替	二七弗二二仙
米支爲替	一六弗七五仙
米佛爲替	二仙六三、一六分二
英米爲替	四弗六六仙一二
英日爲替	一志二片〇〇〇
英支爲替	八片四分三
英伊爲替	一七七法郎一二
印日爲替	七八留比八分五

滿洲中銀爲替

品目	相場
紐育向	二七弗[illegible]分三
倫敦向	一志二片〇〇〇

阪神爲替

品目	相場
對米賣	二七弗[illegible]分七
對英買	一志二片[illegible]分一〇

各地株式市況

▲東京株式（短期）寄付 大引 [illegible]

▲大阪株式（短期）[illegible]

▲大連株式（短期）[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸 十二月限・一月限・二月限 休會

▲大阪綿布 十二月限・一月限・二月限・三月限・四月限・五月限・六月限 休會

▲東京人絹 當限・先限 —

各地特産市況

▲大阪棉花 十二月限・一月限・二月限・三月限・四月限・五月限・六月限 休會

▲大阪期米 當限・中限・先限 [illegible] 納會

▲大阪人絹 十二月限・一月限・二月限・三月限・四月限 休會

▲橫濱生糸 現物・當限・先限 [illegible] 納會

新京 ●大豆 先物 十二月限・一月限 寄付・引・出來高 [illegible]

▲大連 ●大豆 袋入 十二月限・一月限・二月限・三月限・四月限 寄付・大引 [illegible]
●豆（三等豆）[illegible]
●豆粕 現物・一月限・二月限・三月限・四月限・五月限 [illegible]
●豆油 現物・一月限・二月限・三月限・四月限・五月限 [illegible]

九星

十二月二十四日 土曜 庚寅 先勝 滿 胃宿 舊十一月四日

東京・本郷・神誠館

●一白の人 心は頼りに焦れども物事思ふ樣に運ばぬ日 坤と東と辛が吉

●二黒の人 引立てに逢ふて立身出世すべき幸運日たり 丁と甲と辛が吉

●三碧の人 身を守ること貞實なるときは無事たるべし 甲と丁と乾が吉

●四綠の人 運氣は至つて壯んなる日なれど失費も多し 甲と乾と丁が吉

●五黄の人 窮することあるも屈せざれば自然の道開く 東と坤と西が吉

●六白の人 條々の屈曲ありて岐路に踏み迷ひ易き凶日 西と巽と辛が吉

●七赤の人 行く先き進む先きに故障の生じ易き注意日 巽と甲と辛が吉

●八白の人 驕り怠りを戒め家業を勵むときは發展あり 丁と東と西が吉

●九紫の人 安心の樣に見へて、急變を生ずることあり 甲と巽と西が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價〜一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金〜普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話〜編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

汪精衛ハノイへ
突如、空路重慶から去る
外遊說有力視さる

【香港廿三日發國通】チャイナ・メール紙は國民黨副總裁汪精衛が去る十九日飛行機で重慶發昆明經由廿日ハノイに到着したと報じ、またトランス・オーシャン通信社も汪精衛は目下ハノイに在りと傳へてゐる、右に對し廿三日の大公報は汪精衛のハノイ行を否定し、大公報記者が廿二日香港に在る宋子文を訪ひ事實を質したところ、右は單なる風說に過ぎぬと答へた旨を報じてゐる

【香港廿三日發國通】汪精衛のハノイ行說に關し、當地外人筋では下野外遊說が專らで、汪精衛が夫人陳璧君及び家族を同伴して外遊することは今や時間の問題だと觀る向さへある、汪精衛が重慶を離れてハノイに赴いた理由は國民黨內部の紛爭のため汪の政治的立場が愈々困難を加へた結果だと言はれてゐる【寫眞は汪精衛】

【香港廿三日發國通】支那側有力紙大公報の重慶廿二日發至急報によれば、汪精衛は重慶より飛行機で確かにハノイに到着したが、その後の行方は不明であると傳へてゐる

蔣狼狽して否定す

【香港廿三日發國通】汪精衛のハノイ行きの報道流布に對し、蔣政權は極度に狼狽してこれが打消しに躍起となり、右は過般來對蔣武器援助繼續懇請のため自ら佛印當局と交涉中の王外交部長の誤傳であらうと辯明してゐる

蔣、西北補強に躍起
司令長官更迭

【香港廿三日發國通】重慶來電、蔣介石は重慶における軍事會議の決定にかゝる四川軍の再建と西南強化の所謂西北を補强するの原則に則つて軍政機構の全般的刷新を企て全國にわたる各戰區の新規確定に伴つて全國にわたり各戰區司令長官の入替を盛んに行ひつゝあり、第九戰區司令長官陳誠の後任は薛岳を、西北行營主任には程潛がそれ〴〵決定せるほか湖北、湖南、河南三省政府の改組をも行ふことになつてゐる

蔣政權、宜賓に海關分所開設

【香港廿三日發國通】重慶來電によれば、蔣政權は今回揚子江上流の要地宜賓に四川省敍州海關分所を開設する事になり目下準備中である、同地は雲南、貴州、四川各省間の物資輸送路の中心として最近頓に重要性を增しつゝあり、又目下極力工事を急いでゐる川滇鐵路の第一段階終點に當る地點で、將來佛印ビルマ方面から川滇鐵路に連絡される輸送路と揚子江航運の連絡地となるべき重要地である

舊法幣第二次切下
北京政府近く斷行か

【北京廿三日發國通】明年三月十日における舊法幣の流通禁止は愈々三ヶ月半を餘すのみとなり、臨時政府では目下舊法幣第二次切下げ、その他これが豫備的措置につき愼重な考慮を拂つてゐるが、同政府の舊法幣に對する態度は牢固たるものがあり、これが徹底化のため全力を擧げて邁進せんとしてゐる、即ち所謂北方券は蔣政權と連絡を有してその沒落に伴ひ當然下落を見るべくこれによる良民の損害は甚大なるものあるを豫想される、臨時政府はその統治下にある良民に對してはその損害を最小限度に輕微ならしむべく目下各種の對策を考究中である、これがため三月十日後における北方券の流通禁止及び第二次切下げは豫定の如く斷行する筈である、これがため聯銀券の保持者はその損害を免れることを得るも現在なほ種々の逆宣傳を妄信し或は第三國その他の妨害を受け聯銀券を拒否し政府の方針を遵奉せぬものがあり臨時政府としてはこれをもつて非國民的態度と見做し、その損害については意に介するところなく所信に邁進するものと見られる、なほ第二次切下げは本年末かおそくも明春早々には實現される豫定でその效果は頗る期待されてゐる

聯合委員會
第三次會議
明春開催に延期

【北京廿三日發國通】中國政府聯合委員會第三次會議は廿四日北京で開催される筈であつたが、維新政府側代表一行を乘せた飛行機が吹雪のため廿二日青島に不時着したゝめ日程の都合上今年中には開會不可能となり、明春一月まで延期されることになつた、なほ維新政府代表一行は廿三日青島より上海に引返した

近く第八次會談
日ソ漁業條約問題

【東京國通】日ソ漁業條約問題に關する去る廿日の東郷、リトヴィノフ第七次會談は帝國の條理を盡しての公正妥當なる提案に對して依然不合理な自說を頑迷に固持して遂にもの別れとなつたが、帝國としては暫定協定年內締結の既定方針によりさらに東郷大使をしてソ聯側に嚴談せしむるに決し、この帝國政府の訓令に基き東郷大使は一兩日中にリトヴィノフ委員と第八次會談を行ふ豫定である、しかしてこの第八次會談は暫定協定の年內締結の成否を大體決するに至るべき重大會談となるものとみられ、年內における最後的折衝の意味で極めて重視される、なほ第七次會談大要は左の如くである

一、ソ側の態度につき暫定協定が締結を見ること能はざる場合の責任は短時日の間に無理な註文を押し通さうとするソ政府の負ふべきものと日本國民は國をあげてソ政府の態度につき大なる不滿を持つてをり、本件は政治問題として重大化しつゝあるからソ政府も篤とこの點を考慮に入れて問題の急速解決につき最善の努力を拂ふべきである、モスクワにゐる多數外國人もまた日本側の主張の正當なことを諒解してゐる、兩國關係を尠くともこれ以上惡化せしめないことが在ソ大使としての任務であるが、問題は今や一に懸つてソ聯の態度にある

二、安定漁區を競賣に附さうとする案については一日廣田、カラハン協定によつて漁區が安定されたが、その代償としてソ側の國營漁區の漁獲制限が二百萬プードから五百萬プードに增額された經緯を忘れてはならない、從つてもしソ政府があくまで安定漁區を競賣に附さうといふならばソ側も國營漁區の中から三百萬プードを吐き出すべきものである、安定協定が日ソ間の紛爭を除去する上に貢獻したことは充分認めてゐるのである

三、四十漁區を除外する問題については、ソ側は軍略上の考慮に基いて日本人經營漁區を除外しようといふが如何なる條約上の根據があるか、ソ側には漁區を勝手に除外する權利はない、わが方針として從來の現狀維持の方針を變更することは出來ないがこの際打開策として在ソ大使館私案として實際的見地に立ちその主張を考慮し四十漁區の一部分の漁區についてソ側が同種同價値の漁區を提供するならばこれと交換し他のことは今まで通りの暫定協定を結ぶことを提議しソ側がこれに同意するならば右案を政府に上申する旨を說いたのに對しソ側はこの實際的解決案にさへ回避的態度に出で從來の不當な主張を繰返し何等反省の色を示さず、會談は何等の進捗をも見せなかつた

滿ソ外交關係
やゝ好轉の兆
旅券查證問題解決

領事館壓迫問題をはじめ國境紛爭、旅券查證問題等に就きソ聯當局と折衝を續け來つた滿洲國外務當局はソ聯側の非禮愚頑な主張に應酬しつゝ一時危機を傳へられた領事館壓迫問題を解決の曙光發見にまで導き、又半歲に亘つて紛糾を重ねた旅券查證問題は此程暫定的申合せにはせよ解決するに至つた、よつて本年六月以來ソ聯への入國を禁止されてゐた在チタ石田副領事は去る廿一日新京發滿洲里經由任地に赴任した、一方ソ聯側においても在哈ソ聯總領事館ゴーロフ副領事以下四名の領事が滿洲里經由一兩日中にモスクワに赴くこととなり、領事館壓迫問題に起因して緊迫した情態にあつた滿ソ外交關係も稍々好轉の兆が看取されるに至つた

使節團一行
伊勢大廟に參拜

【宇治山田國通】滿洲國使節團一行は廿三日午前十一時長崎より宇治山田に到着、宿舍油屋に小憩後午後一時伊勢大廟に參拜、無事使命達成の御禮をなすと共に皇軍の武運長久を祈願し一行は同宿舍に一泊廿四日午前八時十五分發、午後五時廿分東京驛着の豫定

臨時維新政府滿腔の贊意
首相聲明に呼應聲明

【北京廿三日發國通】東亞新秩序の建設方針に關する近衛首相の聲明に對して臨時政府當局の公式談話は未だ發表されないが、今回の聲明により友邦日本政府の更生中國政府との國交調整に關する根本方針を極めて明確率直に披瀝したものとして滿腔の贊意を表してをり、近く之に呼應して正式聲明を發するものと思はれる、即ち臨時政府としては其成立以來中國民衆の犧牲に於て繼續せられる蔣政權の焦土抗戰から國民をして友邦と相携へて新秩序の再建に邁進せしむべく過去一年の努力をつゞけて來たものであり、今次聲明の中に闡明せられた日滿支三國の提携、日支防共協定締結並びにこれに伴ふ日本軍の防共駐屯及び日支の經濟合作は將來の日支關係を規定すべき當然の基本原則としてこれを承認するに吝かなるものでないとなしてゐる、一方友邦帝國があく迄中國の施政を尊重するはもとより進んで治外法權の撤廢、租界返還の用意あることも宣明されたことは從來累次に亘り聲明された日本の公正なる態度及び日支平等の原則をより一層明確ならしめたものとして心から歡迎の意を表してゐる、しかしてかゝる根本方針は近き將來において新中國統一政權の樹立が實現される場合日支兩國間に締結さるべき基本協定の內容をなすものと豫想されるが、何れにしても今回の聲明によつて日支の基本關係は一般と明朗化されたことに對して多大の感銘を受けてゐる

【南京廿三日發國通】廿二日夜における近衛首相の新東亞の秩序建設に對する談話は維新政府及び一般支那人間においては支那事變に關し日本の希望及び要求が率直に明示されてゐるためこれにより日本の眞意を諒解し得たものとしてゐる、殊に日滿支修交經濟提携に關しては一般に切實にその實現を望んでをり、又共同防共に關してもソ聯の中國侵略の暗躍計り知るべからざるを認識して新東亞の建設のためには絕對必要なる條件と見てゐる、東亞三國の今後における政策に關しても眞に東亞の和平、中國の發展を目指すべく反省再考すべきであるとの意見が強い、わが當局に對し近く維新政府では聲明を發表する筈

偶語

▼金雞學院學監安岡正篤氏は皇道精神を說いて歐米啓蒙行脚へと旅立つた▼今事變以來日本朝野の名士が今次戰の所以を說くため歐米に旅立つた數は相當に上つてゐる▼之ら人々は各の分野に於て極力日本の眞意を表明し誤れる認識の一掃につとめたがその割合に效果の薄かつたのは表面的人物にのみ說いたせいもあるやうに思はれる▼その弊を補はんがため國學研究者としてまた皇道精神を說く蘊の人として事變に活躍せる安岡氏が▼援蔣に狂奔する英佛または米の誤れる認識の是正に乘り出したものである▼凡そその國の大勢を動かすものは國民でありその國民を動かすものは隱れたる文化的指導者であることを根據に出來得る限り歐米の隱れたる文化人と膝を交へて▼極東の現狀から今事變の眞相更に大和魂の眞髓たる皇道精神を說き根本からあやまてる歐米人の思想を叩き直さうといふのである▼現代日本唯一の隱れたる精神家と歐米の隱れたる文化人との會合は今迄に味へない或る期待がかけられる

開拓總局官制公布
産業部當局談發表

開拓總局官制は廿四日公布されたが、これに際して産業部では左の如き當局談を發表した

政府は國內未開發地域における未利用地の開發と移民事業との一元的綜合的運營を期する機構の**整備を**考究中であつたが、去る十二月廿日參議府の諮詢を經本日效に産業部外局たる開拓總局官制の公布を見るに至り康德六年一月一日より之が實施を見ることゝなつた、右開拓總局の所管事項は未開發地域における未利用地の取得及開發に關する事項及移植民に關する事項であつて新機構開設の主眼とするところは國內約一、八〇〇萬町歩以上と推測される可耕未利用地を取得し之を積極的且計畫的に開發し農地造成、森林牧野の設定等專ら國土の開拓利用を圖り以て産業の開發を促進せんとするにある、而して右地域に於ては開發農地の分配を最も合理的ならしめ滿洲原住農民、日本內地人移民、移住鮮農等の農地利用を調和せしめ以て日本內地人移民の促進を圖ると共に國內的に南滿地方の人口稠密地帶における耕地過少農家の積極的國內移住或は人口自然增加に伴ふ耕地不足の補充を考慮し他方移住鮮農の**定着を**も圖り、斯くして民族協和の理念を基調とする道義國家の建設を促進せんとするものである、前述未利用地は明年度以降大凡三、四ヶ年間に政府に於てこれが取得に當ることゝなるべきも假令私有未利用地を收用する場合と雖も勿論有償買收にして其價格に付ても常に適正妥當を期することを言を俟たぬ、且未利用地內に散在する極めて小面積の熟地內に居住する原住農民と雖も萬已むを得ざる場合の外は他に移轉せしむるが如きことなからしめ、日鮮移民と混住雜居せしめ飽く迄民族別割據主義を打破し文字通民族協和を具現せしめんとする方針である、而して斯くの如き中央に於ける開拓總局の設置に伴ひ地方機構に於ても亦三江、濱江、龍江、吉林の四省は現機構の實業廳を開拓廳に改め牡丹江には開拓廳を新設し、その他の主要關係各省には開拓科を設け又主要各縣には開拓科若は開拓股を新設し以て中央、地方を通じ有機的一元的指導統制の下に未利用地の開發、各種移民事業の遂行を積極化せんとするものである以上によつて見るに今次機構の整備は未利用地開發並に移民事業遂行により民族協和、産業の開發、**民生の**向上等を促進せんとするものにして眞に日滿不可分共存共榮上新たなる紀元を劃せるものと言ふべく誠に慶びに堪へない次第である

吉林外四省に
開拓廳設置

政府は移民事業の綜合的運營を期するため中央に開拓總局を設置することゝなり右官制は廿四日公布されたが、地方に於ける移民事業取扱機關として吉林、龍江、濱江、三江、牡丹江の五省に拓開廳を設けることゝなり、廿四日左の如く右に伴ふ省官制の改正を行つた

實業廳に代へ開拓廳を置く省
吉林省、龍江省、濱江省、三江省、牡丹江省
實業廳若は開拓廳及び土木廳を置かざる省　通化省
土木廳を置かざる省
龍江省、熱河省、錦州省、安東省、間島省、三江省、牡丹江省

附　則
本令は康德六年一月一日より之を施行す

社會事業協會に
御內帑金御下賜

【東京國通】天皇陛下には畏くも社會事業御奬勵に深き大御心をそゝがせ給ひ廿三日財團法人中央社會事業協會に對し同會事業基金として御內帑金十萬圓下賜の御沙汰があつた、天皇陛下には同協會が非常時局に際して公私社會事業の健全なる發達を期し組織を改め內容を擴充してわが社會事業の中樞機關としての機能を發揮しようとする趣旨を聞召され、これが御奬勵の思召しをもつて有難き御沙汰を賜つたのであるが、深き大御心に恐懼感激した同協會からは副會長櫻井顧問官窪田靜太郎氏が同日午後二時半宮內省に出頭松平宮相より拜受、御禮の記帳をなし退下した

けふ公布の二十三法令

第六十ならびに第六十一臨時國務院會議を通過した滿洲國銀行法はじめ廿三法令は廿四日付左の如く公布された

一、龍鎭縣名稱變更の件　一、特別會計法中改正の件　一、銀行法　一、銀行法第七條第一項但書の規定による地域指定の件　一、衞生技術廳官制改正の件　一、治安部內臨時職員設置制　一、馬政局官制　一、國立種馬場及び國立種馬育成牧場官制中修正の件　一、國立賽馬場官制中修正の件　一、國立大學工鑛技術院官制　一、新京法制大學官制　一、國立中央博物館官制　一、國務院各部官制中修正の件　一、産業部內臨時職員設置制修正の件　一、水力電氣建設局官制中修正の件　一、金鑛精錬廠官制廢止の件　一、開拓總局官制　一、省官制中修正の件　一、興安各省官制中修正の件　一、黑河省官制中修正の件　一、國立綿羊改良場官制　一、省立綿羊改良場官制　一、中央觀象臺官制中修正の件

社説　支那西北地區の問題

支那の西北地區は曾つて支那共產黨の根據地となつてより支那政局の上に特殊な意義と役割とをもつて登場して來た地方である。武漢陷落後に於いてはその殊特な意義と役割とは更に倍加されるに至つた。支那共產黨は抗日統一戰線を叫び全民一致抗戰を唱へてゐるけれども、その事は別に共產黨が活動の獨自性を保有しようとすることを否定するものではない。從來のソヴィエト地區は特區と改められたゞけであり、紅軍は抗日國民革命軍第八路軍と改名されたゞけである。それらは依然として支那共產黨の支柱をなしてゐるのである。武漢陷落後の抗日戰線が地域的に分散孤立化することは不可避であらう。かゝる時、國民黨は四川、雲南、貴州等の西南一帶の開發を急がうとするのも自然であるが、これに對して共產黨は自らの地盤として陝西甘肅等の西北地區開發を急ぐのも當然である。

更にまた西北地區は國際的舞台に於いて特別な意義を持ち來つてゐる。すなはちそれは、ソ聯及びコミンテルンの赤色ルートを構成してゐるのである。ソ聯及びコミンテルンの世界に於ける支柱は今やフランコ政府に抵抗しつゝあるスペイン人民戰線と支那の共產黨の二つとなつてゐる。そして武漢の陷落は列國の對支援助にとつて大きな打擊となり、英米佛の蔣政權に對する期待は低下せざるを得なくなつた。かゝる狀態にある時ソ聯の對支援助はます／＼强化せざるを得ない。今後に於いてソ聯の對支援助は一層物質的となり、西北地區の赤色ルートによる共產地區及び第八路軍への援助は直接露骨になるであらう。

西北地帶を地盤として第八路軍が採つてゐるのは遊擊戰戰術である。支那共產黨は對日抗戰は持久戰であるとなし遊擊戰の採用を主張して來たそして西北地域に於いてそれを實行し來つたのであるが、武漢の陷落と前後して第八路軍遊擊戰の根據地であつた五台山が潰滅に歸し、また河北の南宮、山東の臨淸に殘存してゐた根據地も徹底的に肅淸されてしまつた。今や支那の西北角に蟠居して新たなる抵抗を試みようとしてゐる。しかし西北地區の主要都市たる西安、赤都延安、それからまた甘肅省の蘭州までがわが空軍の爆擊に曝されてゐるのである。われ／＼はやがてこの地方が敗滅すべきことを信ずるのであるが、今のところ西北地區は支那共產黨に殘された最後の抗日根據地となつてゐるのである。近衛首相の聲明には愈よ具體的に共同防共へと進むべきことが明らかにされた。西北地區は先づ當面の敵陣としてこの防共線の前面に存するのである。

北ボルネオの邦人に　英國が不當壓迫
立入禁止令實施の模樣

【東京國通】露骨な援蔣政策を執る英國は更に北ボルネオの日本人に對し不當な制限を加へることになつた旨の情報が廿二日外務省に達した、北ボルネオには八百の日本人がゴム、椰子、マニラ麻の栽培をはじめ水產に從事してゐるが北ボルネオ開發會社では廿日頃ロンドンで重役會を開き北西部の海岸地方においては今後日本人に水產業及び農業の企業に從事することを許さず、また土地の租借讓渡も許可しない、これは同地方の土質が日本人に適せず利用價値ないためであり、東部は既得權を認め日本人參加企業の發展を期待すると云ふ決定をなし、土質に日本人が合はぬといふおためごかしは噴飯物の至りであるが、この會社が國策會社であるためボルネオ總督も近くこの重役會の決定に基き日本人立入り禁止令を實施するものと見られるので外務當局では近くこの理由なき決定に對し英國の反省を求める筈である

高岡スペイン代理公使歸朝

【長崎國通】廿二日午前長崎入港の郵船榛名丸では滿洲遣歐使節團、日本新聞使節團をはじめ賜暇歸朝のスペイン代理公使高岡愼一郞氏夫妻が賑かに歸朝したが、一昨年七月フランコ將軍の蹶起以來戰火のマドリッドに一ケ月頑張り外交官では最後に引揚げた高岡代理公使は最近のスペインの模樣を左の如く語つた

昨年十二月十日日本政府がフランコ政府を承認して以來私はずつと代理公使としてサンセバスチャンに居たが、スペイン官民は東洋の大强國日本がフランコ政府の目的を援けて呉れると言ふ譯で非常に喜び大變愉快な一年を送つた、現在の赤色政權はブルコスに存在してゐるがフランコ將軍側は既に全國の四分の三以上を席卷して全國平定は近き將來にあり從つて國際情勢もフランコ側に有利に展開してゐる、赤色政權側は食料衣類が甚だ不足し今年の越冬が困難視されてゐる有樣でフランコ側住民の日常生活は安定し治安も確立、生業に勵んでゐる、最も感じさせられることは官民共に新スペイン建設に物心總動員で緊張してゐることで毎月曜日は食後の菓子を拔き毎木曜日は一皿デーを全國一齊に實施し、又宴會なども外交團關係を除き許可制度を執つてゐる、毎日午後十一時の戰況ラヂオの後には國歌を吹奏するが、その際通行人も車馬も室內にある人もすべての國民が起立して合唱するなど輝かしいフランコ政府の將來を暗示してゐる、日支事變に對する輿論は官民一致して日本の防共の聖戰の意義を理解しスペインと日本が世界防共の實戰をやつてゐるとの自負を持つてゐる

密林に共匪を追つて　雪の進軍開始
國軍討代隊從軍記（中）

午後五時、雷溝嶺の頂にたどりついたが遂に殘念にも匪影見當らず、此處に露營の夢を結ぶ事になつた、兵士達は慣れた物腰で立木を切り倒し火を焚き鐵の大鍋に雪塊を投げ込んで湯を沸す、天幕を張る、松の枝を地上にひいてその上に座り込み赫々と燃える焚火を圍んでの晩餐だ、目にしみる煙にむせ乍ら記者は雜木小枝で箸を作り茶色の飯盒飯味噌汁の食事を始めると、飯の中から小枝の切れ端しや小虫の類がとび出して來る、思はず「わあ」と悲鳴をあげると側の中川部隊長は「どうです、そいつを食ふと長生きしますよ」とニヤニヤ笑つてゐる、しかし美味い味噌汁の溫みが下腹にしみる樣だ

日はトップリ暮れた、利鎌の樣な下弦の月は蒼茫たる夜空にかゝり崖緣につき出た老松と相映じ宛ら一幅の東洋畫だ星影は直ぐ頭上にきらめき無數の銀砂をふりまいたやうだ記者はフト少年の頃讀んだ支那人の話を想ひ出した、深更二時焚火の方に向いてゐる足はあつく、反對側の火氣のない頭の方は零下四十度近い冷氣に凍え、月は冴えるばかり身體中の節々が痛んで横轉また横轉、將校も兵士等も健康な寢息をたてゝゐるのが腹立たしい氣がする

まゝにフト見ると最近歸順した楊匪田某、徐某の二人が燃え上る焚火の邊にうづくまり星空をながめて何やらもの想ひにふけつてゐる、この兩名は去る十一月十六日正午張鳳義溝において遭遇した楊匪約百名の匪團を中川遊擊隊が攻め立て交戰一時間の後、敵を四散させ彼等の山寨を燒き拂つてた際、側らの木蔭から「滿洲國萬歲」と絕叫しつゝ拳銃三ッを手土產に遊擊隊に驅け込み歸順した者だが、歸順後は同隊の雜役夫として柔順に働いてゐるのだ、その夜焚火の傍で兩名は楊は口ではうまい事を言ふが食物は運び、自分達は米を食ふくせに俺達にはポーミーばかり食はせる、俺達は歸順すれば滿洲國の良民だ、楊のところへ歸へれば殺されるからもう歸らないと心境を語つた、十六日は前日に劣らぬ快晴「今日こそは是非とも」と部隊長以下全員張り切つて午前八時露營地を出發、例によつて積雪と密林の山中を西方に二キロ跋涉し一〇七三高地の峻岳を一步一步踏みしめ踏みしめての行軍だ、足を滑らし周章てゝ掴んだ草莖が茨だらけで片手を鮮血に染めたり足許に氣を取られて額を木の枝に叩きつけたり記者は慣れぬ山地行軍に惡戰苦鬪だ、足を休め防寒帽子を脫ぐと山の冷氣が熱した頰に心地良い、ホッと一息入れてゐる間に部隊はドシドシ進んで、たちまち後に殘されるので周章てゝ又後を追ふ、午後一時一〇七三高地頂上で晝食をとり飯盒の茶色飯、罐詰めを賞味し雪浴けの水に咽喉をうるほして後、行く事一時間十一月十六日戰鬪のあつた張鳳義溝に至ると、部隊の先頭が何やらガヤガヤと騷ぎ立ち緊張した面持の中川部隊長は單身部隊の進路から左にそれ、山腹の中端まで下降し木の根をしきりに杖でほじくり返へしてゐたが、やがて記者を手招きするので「すわ何事ぞ」と驅け下りて見ると太い松の幹を地下に組み合せ其の中に生肉が埋めてあるではないか

匪賊が牛の生肉を隱しておいたのですよと言ふ、側らには耳の上部に穴の開いた防寒帽が地に塗れてゐる

匪賊共もこうして虫の息で逃げまわつてゐるんですよと中川隊長は帽子を杖の先でひつかけて、ためつすがめつして眺めてゐると、一兵が驅け寄つて來て「隊長、山寨を發見しました」と報告「よしッ」と應へた中川隊長に續いて記者も兵士の案內で反對側の谷間に下りて見ると成程あつた、松の木を組み合せ屋根らしいものを雪から僅に外にのぞかせてゐる、內部は雪で埋つて仕舞つて最近住んでゐた樣子はない、恐らく大分以前に、こゝを使つてゐたものであらう、直ちに兵士が火をつけ燒拂ふと紫色の煙はほのかに雪空に立昇り、共匪末路の哀れさを思せるものがある更に難路を分け入ること約一キロの山中で焚火の跡が紅の鮮血に染つてゐるのを發見した、友座上尉の說明によると十一月十六日の張鳳溝で敗戰した匪賊が此處迄逃げのび、負傷者の手當をしたらしいとの事だ、記者は當日の敵匪の慘敗振りを目のあり見る心地がした、かくて夕陽に輝く雪嶺の美しさに見惚れつゝ午後六時黑瞎子溝に到着し宿舍にあてられた民家に這入ると記者は慾も何もなくたゞ溫い炕の上に轉がりしばし何事も忘れて約一時間まどろんだ

（寫眞は上通化省特作工作隊を點檢する程斌大隊長と、下雪原の山間を縫つて前進する中川遊擊隊）

國防皇軍慰恤獻金品（本社取扱）

一金二萬七千七百五十四圓八十四錢（關東軍司令部）
一慰問袋千三百五十個（同）
一金七十四圓三十五錢軍用家畜慰問金（同）
一金三百圓也（國防館基金へ）
一金五千二百五十三圓三十四錢（駐滿海軍部へ）
累計三万三千百十六圓五十三錢
……十二月廿二日迄の分……

日鮮滿支の電信連絡　十一回線增設

【東京國通】東亞ブロック結成の進捗に伴つて日本と大陸との間に往復する電報は最近飛躍的に增加を來し、將來もます／＼增加の趨勢にあるので遞信省ではこれに對應すべく大陸への通信網整備擴充を企圖してゐるが、いよ／＼本年度內に鮮滿支方面に有線電信十一回線を增設することになつた、即ち朝鮮へは從來無線四、有線八であつたのを東京＝京城、大阪＝釜山、福岡＝京城の三區間に各一回線宛、滿洲國へは從來無線七、有線八の回線に加へて東京＝奉天、東京＝大連、大阪＝奉天、大阪＝大連、神戶＝大連、福岡＝奉天、福岡＝哈爾濱の七區間にそれ／＼一回線宛、支那へは從來無線有線各三回線宛のところ今後は東京＝天津間に一回線增設するものでこのうち東京＝奉天、大阪＝奉天、福岡＝奉天、福岡＝哈爾濱の四回線は年內來る廿五、六日頃開通する見込みである、而してこれら回線の大部分には優秀な國產和文印刷電信機を採用することになつてをり、回線の增加に加へて電報送受の時間も著しく短縮され大陸の經濟文化の進展に寄與するところ大なるものがあると期待されてゐる

工學院卒業式

新京工學院第七回卒業證書授與式は二十六日午後六時より大經路國民優級學校で擧行される

佐々木副總裁
政府、シ團と豫算折衝を開始

【東京國通】滿鐵昭和十四年度事業豫算案を携へ廿一日上京した佐々木滿鐵副總裁は政府當局並にシ團側と折衝を開始しこれが諒解を求めつゝあるが、滿鐵來年度豫算は總額三億六千萬圓で本年度に比し一億二千四百萬圓激增と云ふ未曾有の巨額である、この資金調達の方法としては社債發行一億八千萬圓、政府拂込金四千萬圓、社內保留金五千五百萬圓、傍系會社株開放八千五百萬圓、計三億六千萬圓が考慮されてゐるが傍系會社株開放には大口物として昭和製鋼所株九十萬株並に滿洲化學株式二十五萬八千五百株等を含んでゐる、而して來年度事業費中注目すべきは鐵道關係事業費の增大であつて今年度の一億五千萬圓に比し一億一千萬圓增の二億六千萬圓內外を計上してゐる、更に一方昭和製鋼所の增產計畫に對應する撫順炭鑛の增掘施設費として四千萬圓を、また同じく撫順におけるオイルシエールの增產施設費に一千萬圓をそれぞれ豫定してゐるが、オイルシエールはこれによつて來年度三十一萬噸の粗油增產を見ることになつた、尙ほこの他社內一般事業費としては北支交通會社に對する總出資金一億二千萬圓中來年度分に二千四百萬圓、大汽に對する株式拂込資金千百萬圓、その他合計四千萬圓を豫定してゐる

國都の大玄關も　不眠不休體勢に

記者　湊本英二

そこはかと無き淡い哀愁もて往來する旅人の群、この國が持つ特異性の一つとして民族協和の名に相應しく幾多の民族が或は來り、或は去り海の無い港新京の混雜をこゝに集めたが如き國都の玄關口新京驛の一年は時にダイヤの狂ひこそあれ、毎日々々に同じ列車を迎へ、送り變化なき日を送つたが如く見られるが、そこにもやはり幾多の變化があり、進步がある、本年の最も重大なポイントとして記錄されるのは大陸の玄關口釜山と黎明北支の北京を結ぶ大陸特急を根幹とした今次事變を契機とする日滿支交通の緊密化に對處して十一月一日を期し實施された全滿鐵道ダイヤの改正であらう、このダイヤ改正は主要都市間のスピードアップ及び客荷の增加に伴ふ列車の增發を輸送力の許す範圍內で行はれたものでこれにより鮮滿支間は勿論國內交通運絡は著しく整備擴充され產業開發、文化向上に一段と拍車を加へたものであつた、新京驛はこの改正に依り南北滿を繋ぐ楔として從來奉天止りであつた釜山發急行のぞみの延長、京濱線の列車增配等名實共に輝かしき國都の玄關口としてその威を備へ、しかも又從來無かつた深夜列車の登場に依り今までは深夜闇の中に眠つた新京驛も不眠不休の體勢を取るに到つた、又新京驛の分身にして且つ近き將來に於ける國都の中心驛となるべき南新京驛は待望の急行停車は遂に種々の事情の爲次の機會に讓られたが、その前奏曲としてはとが上下共停車することゝなり、同驛では當日大連行はとの初停車に驛頭の萬國旗も賑やかに南新京町內會總出で萬歲を叫びこの國都中心驛への第一步を祝福したのであつた

◇

筆を再び新京驛へ戻し、毎日七千人平均の乘降客を送迎し三千人近くの入場者を收容してのホームの混雜振りが示す乘降客の數字をひもとくならば左の如くであり、今更乍ら呑吐する旅客の多數であることに驚嘆するのである

▲乘車人員

月	人員
一月	八六、〇八六名
二月	八一、二九七名
三月	一〇九、八〇〇名
四月	一〇五、一〇八名
五月	一一二、二四四名
六月	九五、七七七名
七月	九八、六一二名
八月	一〇一、四四一名
九月	一〇三、四八〇名
十月	一〇五、五三四名
十一月	一一一、〇一五名

▲降車人員

月	人員
一月	九一、五二五名
二月	七五、三六〇名
三月	一〇四、八八二名
四月	一三六、七四四名
五月	九九、七六二名
六月	八八、〇四四名
七月	九三、七九五名
八月	九五、五七八名
九月	九七、七八四名
十月	一〇三、二九〇名
十一月	一一一、四三七名

昭和十三年を顧みて

春秋に旅客の增加するのは勿論觀光客の爲であり、昨年は事變突發のため七月以來決定してゐた視察團體も中止されたりして幾分の淋しさを與へたが、本年は新興滿洲國を世界人に認識させやうと新京觀光協會はこの年事務所を市公署內より驛前ビユーロー二階に移し、ビユーロー新京交通會社と緊密なタイアップを行つて本格的に國都への誘致に乘出した、これらの效果及び延びる大陸への研究に數百者の眞面目な移民地視察團を特徵として其他各種觀光團が三月下旬頃よりどつと押寄せて來た、個人としての觀光客の統計は依るべき確實なものが無いが、團體統計を見るならば宜なるかな、五月に於る百五十九團體、一萬千百十名といふ數字は實に新京驛初まつてより迎へる觀光團體の一ヶ月間中の最高の記錄であつた十月までに新京驛へ降車した團體客は六百六十二團體、三萬三千四百四十三名で昨年一ケ年分の四百七十八團體、二萬四千九百八十二名をはるかに突破してゐるのであつて、これらの視察者は何れも初めて見る大陸の風貌と民情に驚異の眼を向けると共に移民報國第一線の困苦を認識して極めて眞摯な態度を以て歸つた彼等の語る所に依れば滿鐵のサービスの行屆いてゐるのには何れも賞讚してゐるが、國都旅館サービスの落第、滿洲土產の貧困を口を揃へて評してゐるのは國都觀光部門の明年に殘された課題として研究すべきであらう、次に新京驛が送つた出發團體を拾つて見ると十月末現在で百九十四團體一萬七千九百九十二名で昨年分百七十五團體一萬四千九百七十五名よりも增加を見せてゐるのは當然であらうが、注目すべきことは滿人團體が從來に見ない活潑な動きを見せたことでこれが增加の主要な原因であり、一部の訪日旅行團を除いてその多くは國內に於ける小旅行であつたとは言ひながらも、滿人方面の新しき知識への探求に乘出したものとして喜ぶべきことであつた訪日旅行團は官吏に多く春季に於ける新京驛、ビユーロー新京案內所主催の滿人訪日團を始めとして治安部、司法部關係より多く派遣されたのはこの方面に先進國日本の指導を必要とすることを現してゐるものだらう

◇

ともあれこれらの多樣の旅客を送迎した新京驛の過去一ケ年は實に多忙極まるものであり、しかも人口の增加、列車の增配等に依りその仕事は前年よりもずつと忙しくなつてゐるにも拘はらず驛員は依然として約八百五十名を保ち、しかもその間北滿、北支への應援出張を送りながらこの各方面から賞讚されるサービスを以て終始一貫進んだことは實に稻川驛長以下全驛員の一致協力の現はれであることを述べてこの項を終らう

讀者の領分

投稿歡迎 中傷不可

大憤慨せよ猛反省せよ

（軍務生）

物事は其の如何に依らず宜しく考へて見るべし、自分にて判斷が出來なければもつと賢明なる人に習つては如何！日本人運チャンはまだいゝとしても、運チャンのくせとか又大きな顏とかは、何故に用ふるか、過言とは思はぬか、子供にても、良し惡しは知つてゐる、又子供にても、バスの停留所位は知つてゐる、走つて間に會はずして遲れたのは仕方が無いではないか、人を怒むな、待つて寒かつたのは一人では無いと思ふ、勝手な目で見れば、百米も十米に見へる、獨善主義では此の世は通れぬ、御望み通り途中にて乘降許さば如何なる結果になるか、そんな物事の判る人とも思はれぬが、日本人運チャン若し外國人に對してとは、外國人には君の樣な規則も知らない、譯の分らない事を言つて居る者は無いと思ふ日本人運チャンなればこそ、國を擧げての大非常時日支事變が勃發するや運チャンとして第一戰に從軍し晝夜の別なく奮闘努力し、彈丸運搬、傷病兵の輸送に、或は食糧の運搬に大日本帝國男子の最も名譽たるの幾萬分の一つでも盡し得るも又北支大平野、大山岳を堂々と幾十幾百台の戰車が相連ねて、大進軍する壯觀は運チャンで無くては判るまい尚又〇〇方面にては風雲急なる時、今後の運チャンの活躍を見よ、戰車、裝甲自動車、オートバイに至るまで、皆運チャンの操縱して居る事を忘れるな、そして北支中支南支にて身を君國に捧げて奮闘して居る自動車運轉手の爲にも君の發言した運チャンとか大きな顏とかの言を取消し、今後とも自省を望む。

滿洲麻袋組合 創立總會開催

廿二日大連協和會館に

滿洲國政府、關東局ならびに關東州廳では滿洲における麻袋の重要性に鑑み國内麻袋生産の振興方策に

卽應 し必要なる數量の麻袋を適正に輸入しその國内配給を圓滑ならしめ以てこれが需給の調整及び價格の安定を圖るため去る十一月廿四日麻袋統制要綱を發表、本統制により滿洲特産中央會及び關東州特産中央會は新麻袋、五本撚麻袋、黄麻の輸入及び配給業務を獨占的に行ふこととなり、該業務の一部の代行機關として統制要綱に基き滿洲麻袋組合が設立されるに決定した、同組合は中央會により認識せられた紡麻業者、新麻袋、麻糸輸入業、同取扱業者及同輸入業取扱業者を以て組織し滿洲麻袋組合統制規定に基き新麻袋、麻糸及黄麻の輸入保管及配給に關する業務を行ふを以てその目的とするものであつて同組合は右業務の重要なるに鑑み、滿洲國、關東州兩當局の趣旨を證し中央會の指導の下に組合員の一致團結により一意麻製品紡績工業の

振興 に寄與すると共に新麻袋及麻袋の需給調整及價格安定の目的を達せんとすることを期すると云ふのがその掲ぐる設立趣意である、而して特中會では要綱發表後直ちに三井、三菱、大同、實隆、松本、吉本、聚源達、同仁號、石增盛の九店を創立委員に擧げ創立準備に取りかゝつた（要綱發表當時は紡績業者は加盟せぬことゝなつてゐたが、その後これを加へることに變更されたゝめ滿洲製麻が創立委員に加へられた）爾來滿洲國、關東局特中會並に創立委員は連日會合して定款、統制規約の制定を急ぐと共に輸入及び配給實績の調査を行ひ會員資格の決定をなした、かくて滿洲麻袋組合創立總會は廿二日午後二時より大連滿鐵協和會館において華々しく

擧行 され、滿洲國の劃期的麻袋統制は來年一月一日より緒につくことゝなつた、主なる出席者は滿洲國側經濟部事務官、松井產業部特産科長、その他、關東州側白石内務、田中財務、山口警察各部長以下十餘名、民間側大連稅關、大連商議、市商會、爲替辨事處、正金、臺銀、鮮銀、興銀、中銀、國際運輸、豆信、重要物産取引所、滿洲重要物産組合、重要物産取引人組合、大連油坊聯合會、これに會員たるべき四十一名ならびにけふの立役者松島滿特中專務理事、小林同常務理事ら滿洲、關東州兩特産中央會側ら堂々百餘名に上つた、創立總會は吉本委員長の開會の辭にはじまり座長に創立委員長（三井）を推薦、ついで三菱委員の經過報告あつて後いよいよ別項の如き組合定款、組合統制規程を決定の後、組合員の決定をなした、組合員は發送實績千分ノ二以上に該當する有資格者とし、

者を 紡績業者（滿洲製麻、奉天製麻）遼陽紡麻、輸入業者（瓜谷、日清、日棉、實隆、利豐、萬豐の七店）、輸入及び配給業者（三井、三菱、大同、加藤、松本、吉本、盛昌の七店）取扱業者（聚源達、同仁號、萬增盛以下日滿華商の廿四店）の振合ひである、組合員の決定後理事及び監事の決定に入り、これが薦任を座長に一任左の如く決定した

理事　三井、三菱、大同、松本、實隆、聚源達、萬增盛、滿洲製麻の八社

監事　吉本、遼陽紡麻、同仁號、盛昌の四社

引續き理事長の決定に入り岸滿洲特産中央會理事長、松島關東州特産中央會理事長合議の形式で左の如く薦任された

理事長　松島關東州特産中央會理事長

しかるのち座長は組合員の成立を宣言、理事長を紹介、松島理事長就任挨拶をなし、つぎに

祝辭 があり、つぎに松島理事長は滿洲國及び關東州兩當局より「本統制實施の際輸入または配給前後の途中にある新麻袋に關する處置」方針の通達があつたとして左の如く報告した

一、組合員は昭和十四年（康德六年）一月十五日までに所有する新麻袋を本組合を經由せずして現物に限り配給することを得

本統制後本組合を經由せずして新麻袋を配給せんとする組合員は本組合に對し數量價格及び相手方を屆出ずべし、配給すべき新麻袋價格は本組合の公定せる左の價格を超へることを得ず

鐵筋新麻袋四十三錢五厘、靑筋新麻袋四十八錢、六十キログラム入新麻袋四十一錢

二、組合員は昭和十四年（康德六年）一月十六日より一月卅一日まではその所有する新麻袋を本組合の名により所定の統制料納付の上前號配給價格（大連倉庫渡又は工場渡價格）をもつて配給すべし

右報告を終つて理事長閉會の辭を述べこれにて議事を終りこゝに滿洲麻袋組合創立總會は完了して同組合の誕生を見出席者は祝杯をあげて同四時散會した

組合定款

滿洲麻袋組合の定款左の如し

第一章　總則

第一條　本組合は滿洲麻袋組合と稱す

第二條　本聯合會は滿洲特産中央會（以下中央會と稱す）及び關東州特産中央會の委任を受け黄麻五本撚糸（以下麻糸と稱す）及び新麻袋の輸入及び配給を統制し以てこれが需給の調整及び價格の安定を圖るを目的とす

第三條　本組合は前條の目的を達するため左の業務を行ふ

一、黄麻、麻糸及び新麻袋の輸入計畫の設定

二、黄麻、麻糸及び新麻袋を輸入せしむべき會員に對する輸入割當數量の決定

三、輸入麻糸及び新麻袋を配給せしむべき會員に對する配給割當數量の決定

四、黄麻、麻糸及び新麻袋の配給價格の決定ならびにその公示

五、別に定むる統制料の徴收及び積立

六、その他前各號の業務に附屬する業務

第四條　本組合は主たる事務所を大連に置き從たる事務所を必要の地に設くることを得

第五條　本組合は滿洲において麻糸及び新麻袋の生産を營む者（以下紡麻業者と稱す）輸入を營む者（以下輸入業者と稱す）配給を營む者（以下取扱業者と稱す）または輸入兼配給を營む者（以下輸入兼配給業者と稱す）にして中央會の認定したる者を以て組織す

第二章　組合員

第六條　前條に掲ぐる資格を有する者は本組合に左の加入金を納入し組合員となることを得

紡麻業者三千圓、輸入業者二千圓、取扱業者五百圓、輸入兼取扱業者二千五百圓

本聯合會は正當の理由なくしてその加入を拒むことを得ず

第七條　第八條、第九條略

第三章　役員及び職員

第十條　本組合に左の役員を置く

理事長一名、理事若干名、監事若干名、顧問若干名

理事長及び顧問の選任はこれを中央會に委囑し理事及び監事は總會の決議により組合員中よりこれを定め、役員は名譽職とす

第十一條、第十二條、第十三條略

第十四條　役員の任期は二年とす

但し重任を妨げず

第十五條　本組合に左の職員を置く

主事一名、書記若干名

第十六條　職員の任免は理事長これを行ふ

第四章　會議

第十七條　會議を分ちて總會及び理事會とす、總會は組合員、理事會は理事長及び理事を以てこれを組織す

第十八條　組合は定款及び臨時の二種に分ち定期總會は每年七月一回これを開く、臨時總會は左の場合にこれを開く

一、理事長必要と認めたるとき

二、監事必要と認めたるとき

三、組合員の三分ノ一以上の同意をもつて招集の要請ありたるとき

第十九條　總會に於て決議すべき事項左の如し

一、定款期に定款施行規則の制定または變更

二、事業報告豫算及び決算の承認

三、理事及び監事の選任

四、組合員の除名

五、解散

六、その他理事長において必要と認めたる事項

第廿條　總會は理事長これを招集す

第廿一條　組合員は總會において加入金每五百圓につき一個の決議權を有す

第廿二條　總會の決議は出席組合員の決議權の過半數をもつてこれを行ふ

但し定款變更又は解散については組合員の半數以上出席するに非ざればこれを議することを得ず

第廿三條　略

第廿四條　本組合において決議すべき事項左の如し

一、新麻袋、麻糸及び黄麻の輸入計畫その他本組合の業務執行に關する重要事項

二、組合員の加入及び合體

三、職員の給與及び服務規定の制定又は變更

四、總會に提出すべき議案

五、その他理事長に於て必要と認たる事項

第廿五條　理事會は理事長之を招集す、理事會の決議は出席理事の過半數の同意を以て之をなす、可否同數なるときは理事長の決するところによる

第廿六條　本組合の役員は直接事務に重大なる利害關係を有す事項についてはその職務を行ふを得ず

第廿七條　本組合の事業年度は每年七月一日にはじまり翌年六月卅日に終る

第廿八條　理事長は每事業年度の終りに於て左に掲ぐる書類を調整し、定期總會の十日前に監事に差出すべし

一、事業報告書

一、決算書

第廿九條（略）

第卅條（略）

第卅一條　本組合の經費及び本組合の業務に關し中央會の要したる經費は加入金の利息をもつてこれに充つなほ不足あるときは第三條第二項の統制料積立金を以てこれに充つ

第六章　雜則

第卅二條　本組合解散したるときは理事長その清算人となる

附則

本定款は康德六年（昭和十四年）一月一日よりこれを施行す、組合規約第三條第五號の統制料に關する件、本組合は當分のうち左記の通り統制料を徴收するものとす

一、輸入新麻袋一枚につき二錢五厘

二、輸入麻糸二百五十ポンドにつき二錢五厘

六年度に設立される金融合作社所在地

村落十六社、都市四社決定

經濟部においては民意の要望と金融合作社の使命達成とを考慮に入れ、康德六年度においては村落金融合作社十六社、都市金融合作社四社、計二十社を設立することに決定し、これが設立地の有力者を設立準備委員長及び委員に夫々任命または委囑すると共に各現地に職員を派遣して目下着々設立準備中であるが、近々各地共設立事務完了し業務開始の運びに至る見込みである、なほ金融合作社設立豫定地及び經濟部派遣の設立準備委員は左の如し

省名	合作社名	委員名
△吉林省	長嶺金融合作社	本山勉
同	乾安　同	松本嘉
△通化省	揖安　同	深澤等
同	輝南　同	矢野重忠
△安東省	桓仁　同	二木正敏
△奉天省	興京金融合作社	官谷勳
△濱江省	安達　同	我妻馨
同	郭爾羅斯旗　同	飯田昌三
△龍江省	體泉　同	松井辰一
△興安南省	科爾沁左翼　同	宮里榮
同	龍鎭　同	下郡鐵城
△三江省	方正　同	檜村邦博
△熱河省	建平　同	野村源太郎
同	靑龍　同	挾間新太郎
同	隆化　同	渡部重雄
△興安西省	開魯　同	前田竹次
△龍江省	齊々哈爾都市　同	山中惣市郎
△興安北省	拉哈爾　同	井上龜造
△黑河省	黑河　同	水谷良三
△牡丹江省	牡丹江　同	西村金獅
（兼）		藤本守

十二月上旬の滿洲國對外貿易額

十二月上旬滿洲國對外貿易額は輸出二千三百卅七萬圓、輸入三千九百五十二萬圓、差引入超千六百十四萬圓で、これを前年同期に比すれば輸出に於て五百卅一萬圓を減少したが輸入に於ては七百十九萬圓の增加である、國別内譯左の如し（單位千圓）

	本年	前年
△合計 輸出	二三、三六七	二八、六八七
輸入	三九、五二四	三二、三三一
入超	一六、一五七	三、六四四
△日本 輸出	一五、四六〇	一五、七一〇
輸入	三三、〇一六	二四、〇四三
入超	一七、五五六	八、三三三
△中華民國 輸出	二、八二〇	—
輸入	三、八〇四	—
入超	九八四	—
△ドイツ 輸出	一、五六六	—
輸入	[illegible]	—
出超	[illegible]	—
△其の他 輸出	三、五四四	—
輸入	二、三三六	—
出超	一、二〇八	—
△支那を除きたる第三國計 輸出	五、〇九六	八、一〇三
輸入	三、七〇四	七、四七三
出超	一、三九二	六三〇

重要輸出品目別は左の如し

品目	本年
大豆	九、二四三
其の他の豆類	七〇三
粟	[illegible]
高粱	[illegible]
玉蜀黍	[illegible]
落花生	[illegible]
蘇子	[illegible]
荏麻子	[illegible]
大豆粕	[illegible]
大豆油	[illegible]
蘇子油	—
荏麻子油	—
石炭及煉炭	[illegible]
マグネサイト	[illegible]
硫酸アンモニア	[illegible]
豚毛	[illegible]
其の他	[illegible]
合計	[illegible]

重要輸入品目別は左の如し

品目	本年
生ゴム、生グッタペルカ	一二
コールタール染料	[illegible]
米及籾	[illegible]
魚介及海産物	[illegible]
砂糖	[illegible]
茶	[illegible]
葉煙草	[illegible]
蓆及蓆地	[illegible]
木材	[illegible]
棉花	[illegible]
綿織物	[illegible]
毛織物	[illegible]
絹織物及人繊織物	[illegible]
麻袋	[illegible]
紙類	[illegible]
鐵鋼	[illegible]
銅	[illegible]
アルミニューム	—
錫	[illegible]
電氣機器及裝置	[illegible]
車輛及同部分品	[illegible]
機械及裝置	[illegible]
其の他	[illegible]
合計	[illegible]

滿洲製罐會社 設立認可

關東州ならびに滿洲國においては製罐企業は一つもなく、事變以來品不足に苦んでゐたが、殊に鐵鋼配給統制實施以來製罐の配給も日本（朝鮮、臺灣を含む）並に滿洲（關東州を含む）に畫然と區分されて從來關東州を除く現地製造を餘儀なくされたので從來關東州に移出してゐた内地製罐業者間において關東州内に滿洲製罐會社（資本金五十萬圓）設立の議が起り準備中であつたところ廿一日附認可があり、一月十日までに第一回拂込の豫定である

保養院開設日時

鐵道總局では結核患者の撲滅を期し左記四ケ所に保養院を新設することゝなり本日正式に發表した

奉天保養院　昭和十四年二月一日開設

新京保養院　同　二月十日開設

撫順保養院　同　一月廿日開設

哈爾濱保養院　同　二月廿日開設

北千島水産社長

【東京國通】北千島水産では（資本金千百萬圓）缺員中の社長に眞藤愼太郎專務が昇格專務に中部兼吉氏、常務に秋谷六三氏がそれぞれ就任することに決定した

商況欄　三日後場

●大連株式（短期）　寄付　大引

五品、東新、滿業、同新、鐘紡 [illegible]

●奉天株式（短期）　寄付　大引

滿鐵、大新、豆新、土木 [illegible]

新京取引市況

滿取、東新、大新、滿業、同新、日蓄、五品、滿鐵、同新、鐘紡、電甲、電乙 [illegible]

先物●大豆　寄　引　出來

十二月限　[illegible]

一月限　[illegible]

手形交換高（三日）[illegible]

公示催告

康德五年（實）第一一九號

新京特別市通化路二〇二ノ二
申立人　難波宗治

左記證券の所持人は康德六年六月十五日午前十時迄に當法院に權利を屆出で且證券を提出すべし屆出を爲さゝるときは直に證券無效の宣言を爲す

康德五年十二月十日

新京區法院　審判官　阿座上逸

證書の重要なる表示

證書の表示は左表の如し

一、滿洲電業株式會社株券　六枚

株券種類	券面額	拂込額	株券番號	當初の株主名義人	發行年月日	發行代表者名
舊株	二百五十圓	全額拂込濟	乙 六一	南滿洲鐵道株式會社 總裁松岡洋右	康德三年九月五日	滿洲電業股份有限公司 董事長吉田豐彦
同	同	同	乙 六二	同	同	同
同	同	同	乙 六三	同	同	同
新株	五十圓	十二圓五十錢	以二、八七四	難波宗治	康德五年三月一日	滿洲電業株式會社 社長丁鑑修
同	同	同	以二、八七五	同	同	同
同	二百五十圓	六十二圓五十錢	呂一三、一一〇	同	同	同

一、滿洲帝國政府第三次四厘公債證書　六枚

券面額	利率（年）	證券番號	發行年月日	發行代表者名
五十圓	四厘	四六一	康德四年十二月一日	經濟部大臣韓雲階
同	同	四六二	同	同
同	同	四六三	同	同
同	同	五、一一一	同	同
同	同	五、一一二	同	同
同	同	五、一一三	同	同

一、滿洲儲蓄債券第二回　乙組　五枚

券面額	賣出價格	償還支拂價格	證券番號	發行年月	發行代表者名
十圓	五圓	十圓	一二、一七二	康德五年八月	滿洲興業銀行 總裁富田勇太郎
同	同	同	一二、一七三	同	同
同	同	同	一二、一七四	同	同
同	同	同	一二、一七五	同	同
同	同	同	一二、一七六	同	同

家庭

農村より都會に多い 子供達の喧嘩
仲裁する時の心得

子供に怒りの感情が見られるのは滿三歳ごろからだとされてゐます、この怒りから「喧嘩」となつてくるのはこの後で、それまでは喧嘩らしい喧嘩はほとんど見られません

この 幼兒の喧嘩について最近都會、農村にわたつて少し調べて見ましたが、それによりますとつぎのやうに大變興味のある事實が現れてをります。

まづ住居の關係から見ると農村よりは都會地の方が喧嘩の發生率が多く、同じ都會でも山の手よりは下町に多い、この理由は人間同士の接觸の多いといふこと、場所のせまいといふこと、刺戟の多いといふ點に起因してゐるものと考へられます。

なぜ 喧嘩になるか、これで一番多いのは玩具の爭奪で、そこに幼兒の喧嘩の特徴が認められますが、支配的の地位の爭ひから喧嘩になる場合も少くはないやうである。

これについては正義感からあの子は悪いといつたことからの喧嘩や友達がいぢめられてゐるのに加勢して喧嘩をするといつたものです、あとは前からの喧嘩に引續いて、その復讐のための喧嘩や身體にふれたとか、足を踏れたといつたことに起因する喧嘩、戰爭遊びから喧嘩に發展する場合など大體さういつたことが原因となつてゐます。

幼兒の場合では多くの場合が二人同志の喧嘩ですが、年が多くなるにしたがつて組織立つて敵味方に分れ人數が増加して來ます。

同時 に口だけの喧嘩が多くなつて來ます、これは年齢五、六歳ごろです、しかし全般的にいふと大きくなるにつれて喧嘩そのものゝ數は少くなる傾向がある。即ち學童は幼兒にくらべると數がずつと減つてくる、これは幼兒の社會性が未發達なのに對し學童は次第にそれが發達してくるからだと思はれます。

そこで幼兒が喧嘩をはじめたときには母親なり保姆なりはどう處置したらよいかといふことになりますが

この 場合は直ぐとめるとか制裁するやうな手段はさけて、どうして二人の間に破綻を來したのか、こどもが悪いことをすればどうなるか、人間同志は喧嘩をすればどうなるかといふことを自然に分るやうにする必要があると思ひます、そうしてこどもの社會生活に對する態度を確立させるやうに導いて行くといつた態度がのぞましいものです

身体が溫まる 豆腐料理
これからもつて來いです

寒い風に吹かれて歸つた晩など、うちに湯豆腐の支度の出來てゐるのは嬉しいものですが、お酒を頂かない女や子供達のお惣菜には、どうもこれではあまりあつさりしすぎるやうです、さういふとき、藥味でなしにこの鍋に五分葱を一緒に入れてごらんなさい豆腐に葱は非常によくあふもので、お互に兩方の味を引き立て、御飯のよいおかずになります。

はじめ昆布を鍋の底に敷いてお湯を煮立て、煮立つてゐる處へ三つ切でも、五つ切でも食べるだけの豆腐と葱を入れ、葱の外皮が軟く煮えた時分に藥味といつしよに召上るやう。藥味は刻み葱と海苔、わさび或はおろし生姜、それに橙酢に醬油を入れます。

吸物代り 目先を變へようと思つたら湯豆腐として召上つたあと、お椀へ殘りの豆腐と昆布だしのきいてゐるおつゆをいつしよに、それに藥味も加へると味も香りもなんとも云へないおいしいお吸物が出來ます。

東波豆腐 尙風變りな燒物、揚ものの代りとしてお吸物にするとなかなかしやれたものになります。まづ豆腐は縱二つ横四ツの八ツ切にしてふきんにのせ、水氣をきつておき、別に麩を裏ごしの上で、こすつて粉にし、玉子の白身を用意して、豆腐に白味をつけ、麩の粉をまぶして熱した油で揚げるのです、揚がると浮いて來ますからその時裏がへしてちよつと揚げ、あついうちに天つゆでいただきます。ヤクミは大根おろしと洗ひ葱がいゝでせう、天つゆの割合は味淋一に醬油一、煮出し三の割合でさつと煮立てます。

東波豆腐椀 この揚げた豆腐をお椀に入れて大根おろしと洗ひ葱と生姜のおろしたものをのせ、この上からちよつとしんみりした煮汁をさつとかけると、お客様に出しても非常に氣のきいたお椀が出來ます

電氣アイロンをかける時の注意

◇……調節器のついてゐない電氣アイロンをお使ひになる場合は使用中何回も切つたり入れたりして溫度の調節をしなければ成ません

◇……初めスイッチを入れて四、五分經てば十分熱してきますから、先づ厚地のものを先にハンカチなどの小物類はスイッチを切つて後の餘熱を利用してかけます、セルとかネルとか絹物には強いアイロンは禁物です

◇……また羽二重のやうな布地には日本紙を二枚しいた上からあてないと艶光りを生じる憂ひがあります、洋服類は手拭を水にぬらして絞つたものを上にのせ當てます

◇……ワイシャツ類には十分に霧吹きして濕まりがアイロン全部に行き渡つてからかけ、ハンカチやソフトカラーなどは固く絞りさへすれば干さずにそのまゝかけた方が美しくまた經濟的です

初めての日本髪に この心得法を
樂しき十九の春

◇お正月ともなれば始めて日本髮を結はれる若いお孃さん方も居られますでせう、それらの人々の爲に日本髮を結ふ心得を述べてみませう。

◇……十八九歳、この時代は花ならば恰度ほのかに開きかけた一番床しく美しい頃で御座いまして、ほんの僅な御化粧をなさいましても大變美しく見えるのでありますから、なるべく厚化粧は避けて日本髮の場合にも自然に近い御化粧が最も奧床しく上品に見えるので御座います。わざとらしいメークアップを致しますと却てグロテスクに見えて不愉快なものです。

◇……順序は先づ白粉下を指先にて鼻、頰、顎、額に點々と付け掌でよくのばします、下地が出來ましたらば粉をつけ頰紅をつけましてから水白粉を付けます、最後に水刷毛のかはりにスムシングクリームで平におさへまして粉にて仕上げます。

◇……次に口、眉毛、睫毛をコールドクリームでよく拭取つてから眉を描きます、餘りはつきりと細く描きますと不自然な感じになります故毛なりにぼかして頂きます、目のメークアップは一番大切な事でありまして眉墨かアイシャドーを使つて二重瞼の方は上に一重瞼の方は下に極目立たないやうに目はりを入れます、口も自然に近く上唇は下唇よりやゝ薄加減に口紅をつけるやうに致します。

◇……襟は白粉下のいらない襟白粉が御座いますからお顏が濟みましたらば刷毛で顎の下から襟へ平に付けまして一たん刷毛で顏と襟の境をぼかし全體に粉をつけまして最後にスムシングクリームでおさへますとお召物にもつきません。

◇……次にお白粉の色は日本髮の場合、黄色は却て引立ちませんから是非ピンク系統のものをお使ひ下さい、頰紅は色白の方でオレンヂ系統、其の他の方で新鮮色又は明朗色が一番結構と思ひます、口紅は色白の方でライト、其の他の方でメヂユームが良ろしう御座います。

コロテンチャン 54 結婚ノツリ

けふの番組
〔M・T・C・Y 新京放送局 廿四日 土曜日〕

※朝※

七、五〇(大連)ラヂオ體操・入港船のお知らせ
八、一〇 ニュース
八、一五(大連)中等滿洲語講座 秋父固太郎
八、四〇(大連)朝の音樂
一、吹奏樂
(イ)歌劇 タンホイザー 大行進曲
(ロ)歌劇 ローエングリン結婚行進曲
二、管絃樂 皇帝行進曲
九、〇〇 氣象通報
九、〇五(東京)經濟市況
九、三〇(東京)經濟市況
九、四五 建國體操
一〇、〇〇(齊々哈爾)家庭講座 教育者としての母性 齊々哈爾高等女學校校長 近藤喜助
一〇、二五(大連)料理獻立
一〇、三五(大連)家庭メモ
一〇、四〇(大・新)經濟市況
一一、三五(大連)經濟市況
一一、四〇(東京)經濟市況
一一、五九(東京)時報

※晝※

〇、〇一(哈爾濱)晝の演藝 獨唱と絃樂三重奏
ソプラノ ソフイカ・コルチアニヴァ
コントラアルト トーラ・ユートラノヴイッチ
FY絃樂三重奏團
一、獨唱 (イ)焦燥 シューベルト作曲 (ロ)馬の鈴 ニコラエフ作曲
二、三重奏 アレグロ作品一六四番 ライジグル作曲
三、獨唱 (イ)夜明け レオン・カヴアロ作曲 (ロ)ハバネラ ビゼー作曲
〇、三〇(東・新)ニュース
引續き講談社提供キングレコード
愛國流行歌 (イ)あゝ愛國の血は燃えて 永田絃次郎 (ロ)祖國の娘 井口小夜子
一、〇〇(大・新)經濟市況
三、〇〇 經濟市況
四、〇〇(東京)ニュース

ラヂオの御用は 東京無線 電③四九一〇 ③五三八九番

四、四〇 氣象通報・ニュース 經濟市況
五、二〇 ニュース「鮮語」
五、三五(奉天)演藝「鮮語」

※夜※

六、〇〇(哈爾濱)子供の時間「全日滿放送」・クリスマスの贈物
一、挨拶と合唱 滿洲國 劉淑霞外
二、挨拶 獨逸國 ヒンデンブルグ小學校 ヘラルドフランデップ外
三、挨拶 伊太利國 レヂーナ・テンコ
四、挨拶と合唱と朗讀 波蘭國
挨拶 リディア・ソスノヴスカヤ
合唱 哈爾濱ポーランド小學校生徒 指揮 ヨーゼフ・ヴイシンスキー
朗讀 コンスタンチン・イダグスキー
五、合唱 ウクライナ少年少女 指揮 ルリシヤ
六、二〇(大連)子供の新聞
六、二五 講演 一年の回顧(五)治安 治安部警備科長 田中要次
七、〇〇(東京)ニュース・告知事項・今晩の番組
七、三〇(東京)國民歌謠 大建設の歌 指導 伊藤武雄 合唱 ユーフオニッククコーラス 伴奏 東京放送管絃樂團
七、四〇(東京)講演 科學界のトピック 工學博士 山口昇
懸賞放送文藝發表の夕
八、〇〇(大阪)童話劇 國平舟の子 今井初二郎作
國平舟の子 淸一 熊山淑宏
その姉 民子 武田曉子
父 高橋正夫
母 林幸子
巡査 安田利一
先生 本多正夫
女神の聲 高宮町子
演出 堀正旗
八、二五(大阪)ユーモア演藝 超テレヴイ 杉山榮洋作
八、四五(大阪)勤勞歌 桂春團治 高橋宮二 岩間櫻子
獨唱 阿部幸次 同 谷美歌
合唱 大阪放送合唱團
伴奏 大阪ラヂオオーケストラ 指揮 内田元
一、勤勞の朝 浦木俊一郎作詞 服部良一作曲
二、汗の出る頃 黄田栄作詞 藤井淸水作曲
三、職場の窓から 深澤あき作詞 宮原康郎作曲
四、山で動きや 山崎外作詞 飯田信夫作曲
五、紡績工場の唄 喜志三省作詞 内田元作曲
九、〇〇(大阪)ラヂオドラマ かどで 平井英路作 母 毛利菊枝 姉ゆき 杉村春子 弟興吉 島田慶一 演出 JOBK文藝課
九、三九(東京)時報・ニュース・ニュース解説 氣象通報・ニュース・告知事項・明日の番組
一〇、三〇 ニュース再放送
一〇、四〇(哈爾濱)北滿の時間
アナウンサー 渡邊(朝) 池谷、田中(晝) 古島、荒井、上森(夜)

主婦之友(新年號)

▲山本有三氏の名作「新篇、路傍の石」や櫻井少將の「新肉彈」連載以來「主婦之友」には男性の讀者が激増したと確聞する▲その「主婦之友」に新年號から「若い人」で有名な石坂洋次郎氏の「曉の合唱」が連載されはじめたことは、近來の快事である▲「曉の合唱」と同時に新連載の「幼き者の旗」は「主婦之友」の二千圓懸賞當選小說である作者は現に北支轉戰中の陸軍軍曹氏原大作氏、現地執筆の雄篇で、燃ゆる祖國愛と、家郷に殘した妻子へ寄する切々たる望鄉の情が行間に溢れてゐる▲火野葦平の「兵隊通信」岡讓二、佐野周二の二大出征スターの戰場だより、白衣の勇士、從軍僧、從軍記者達の「戰場の奇跡と靈驗を語る座談會」等各々感銘ぶかく興味深い讀物である▲裁縫、料理、育兒の三大全集附錄を始め八大附錄の大勉强(特價九十錢、送料十五錢、東京、神田主婦之友社發行)

健康と衛生のために・・・

薬用クラブ歯磨

強力殺菌劑ヨードチモール・クロール・カルヴァクロール配合

クラブ歯磨本舗所有の歯磨のみ

八大專賣特許

第一〇一九七一號 酸素を含有せる歯磨の製法

第一〇二二〇號 オゾンを含有せる歯磨の製法

第一〇三四三三號 過酸化水素を安定なる状態に於て含有せしめたる歯磨の製法

第一一五二六二號 新殺菌劑クロール・カルヴァクロールを含有せる歯磨

第一二一四七四號 新殺菌劑ヨードチモールを含有せる歯磨

第一二四二一九號 クロラミンを抱合せる歯磨

第一二五七〇〇號 銀コロイドを配合せる歯磨

最新特許 レントゲン照射によつて喚起しにる薬品を應用せる歯磨

強い殺菌力でムシ歯を防ぐ薬理的歯磨

大楠公のマーク 國民の健康歯磨

衛生と健康増進のために歯磨の使命がますます重大となりました。口腔衛生の保全はもちろん、すゝんで身体の健康を强化する歯磨が体位向上の秋に要望せられてゐます。その點で强力殺菌劑配合の薬用クラブ歯磨は殺菌・清掃力が强くて眞の科學的歯磨として賞用されてゐます。

新發賣 コップ容器入（最新式タフ付） 薬用半煉クラブ歯磨 二十五セン

普通の歯磨と違つて科學的な唯一の薬用歯磨

殺菌力の強い完全な歯磨！

あなたはどんな歯磨を使つてゐらつしやいますか？若し強い殺菌力を持たない普通の歯磨でしたら、それではムシ歯や口臭を完全に防ぐことは出來ません。ムシ歯や口臭は殆んど口中の有害なバイキンが原因である事は申すまでもありません。ですから強力な殺菌力をもつた薬用歯磨が必要です。なぜならその點眞に誇るべき殺菌作用をもつ歯磨は薬用クラブ歯磨が唯一つあるのみです。專賣特許の強力殺菌劑クロール・カルヴァクロール及びヨードチモールを配合してゐますから……。歯科の先生方が擧つて推奨されるのも普通の歯磨とちがふ驚異的な殺菌清掃力をもつてゐるからです。

ムシ歯や口臭を良く防ぐ！

從つて朝晩薬用クラブ歯磨をお使ひになれば、ムシ歯や口臭の原因となる口中のバイキンを死滅させしかも何等の副作用がありません。その上味と香りが爽かですからどんなお子様でも、進んでお磨きになります。全國の小學校で歯磨ならば……薬用クラブ歯磨と御指定を頂いてゐるのもそのためです。

歯と歯齦の抵抗を強くす！

恐ろしい歯槽膿漏は歯齦が弱くなる事から始ります。薬用クラブ歯磨で毎日歯をお磨きになる時に歯齦も共にマッサーヂなさればヨードチモールのもつ薬理的効果で丈夫な歯齦になり歯を強健にして歯槽膿漏を豫防します。

歯を根本的に白くする！

特に歯を白く美しくする強い作用がありますから歯の保健衛生のためばかりでなく美容のためにもこれ以上の歯磨はありません。今日からあなたの歯磨を薬用クラブ歯磨にかへて御覧なさい！

H—71

クラブ煉歯磨…十五セン・二〇セン・三〇セン・四〇セン・六〇セン

クラブコドモハミガキ……十二セン

婦人倶樂部

新年號

断然日本一!! 誌界を壓する二の大壯觀!

一年一度、全くケタ外れの大奮發!!

全國一 五大附錄!

第一別冊附錄

實用本位!!

仕立から再生まで 和服一切の大全集

仕立から再生迄、和服の事なら一切合切何でも判る非常時向き重寶大全集 子供物、女物、男物和服類一切の東京仕立、古い衣類が見違へる程新品に生れ變る再生法二十一種、その他家庭で出來るシミ拔き法百二十七種、和服一切の家庭洗濯から繕ひ方、初心者にも仕立屋さんにも銃後の御婦人一人一冊の和服大全集、二度と手に入らぬ豪華特別附錄!!

第二別冊

物價高時代に眞向き!!

貯金がふえる 奥樣の經濟百科寶典

一寸した工夫で一ケ月に數圓は違ひます。キット貯金がふえて暮し向が樂になります。奥樣經濟の虎の巻五百項を發表の名附錄 續々出來る貯金名案から、燃料、食品、衣類、履物、家具、等々御婦人が關係する一切のものの經濟虎の巻、之を知ると知らぬでは一ケ月數圓の違ひ、今スグ御實行下さいませ。

第三別冊

スグに役立つ 新實用お作法

出征・入營のお祝から

戰傷、戰死の遺家族弔問お作法一切、訪問、接客、贈答、婚禮、出産、病氣見舞、火事見舞、凶事一切、その他和食、洋食、支那食のすゝめ方頂き方まで、戰時下銃後の婦人が知らねば恥をかく昭和のお作法一切を懇切に敎へたお作法の大全集、夫の代理、父の代理、これからの婦人必備の附錄

第四別冊

体位向上 健康第一 三百六十五日 朝晝晩のお惣菜

安くて美味しく榮養滿点

見よく分りよく實際に役立つお料理の決定版 一年三百六十五日、朝晝晩のお惣菜、全部實驗ずみで發表した苦心の大附錄、手輕で榮養本位、美味第一のものばかり、誠にこれこそ戰時下各家庭一家一冊必備の大附錄

第五別刷

諸願成就 銃後の護 國寶如意輪觀音像

極彩色の掛軸用名画

昔から全國の婦人間で信仰篤き、諸願成就の有難い如意輪觀音樣の國寶御像 金では絶對に買へない貴重品、特に許されて婦人倶樂部が複製全讀者に贈呈する特別大附錄です。

謹輯奉掲

皇室御畫報

畏くも天皇皇后兩陛下を初め奉り、各皇族方の輝き御畫報、宮内省御貸下げ 職能の新春仰ぎまつるだに感涙に咽ぶ一億同胞殘らず備へて頂きたい御畫報

林芙美子女史の傑作愈〻發表!!

灯のつく家

漢口一番乘りの林芙美子女史が、戰線から歸りて戰塵を洗ふ暇もなく感激と情熱をこめて新しく婦人倶樂部の爲に發表した涙の熱篇、「灯のつく家」戰線の夫と銃後の妻を描いて萬人の涙を絞る感激篇!!

良人が出征の留守に愛兒を失つた妻の涙の手記（二篇）

戰傷の一兵卒が獨學で縣下一の名校長（宇和島明倫青年學校の堀内先生涙の苦鬪物語）

回 婦人と時局（武藤貞一）

回 私の母（徳富蘇峰）

感激小説 親鸞上人 武者小路實篤

愛の人聖親鸞の大生涯、文豪武者小路先生の新連載愈々發表!!

一流美容師發表の **新年美容室**（小口みち子・千葉益子・早見君子）

▲お正月の生花・盛花・投入大画報

治癒率百パーセント!肺病の無藥療法

内職副業に成功してゐる人々の經驗實話（三篇）

廢物利用の新案防寒物七種の作方

▲子供を叱つて失敗、褒めて失敗した話（三田谷博士）

▲若しも私が縁結びの神だつたら（二色オフセット）

褒めたり貶したり **東西漫談合戰**

關東方と關西方、二手に分れた人氣男評判・女六名家が、隅田川夢評判のもとに火花を散らす大舌戰、面白さ天下無比!!

お正月料理（大特輯）

手輕で喜ばれる來客向新年料理

東京で評判のお汁粉とお雜煮の作り方

胃腸を丈夫にする乳酸飲料の家庭製法

妊娠中の婦人と柴山博士冬の妊娠と安産問答

お産は婦人方一生の重大事! 殊に冷え込む冬の妊娠と安産について産科の權威柴山博士の親切な御注意、姙婦方必讀!!

妻の幸福の道を切拓く座談會

菊池寛先生を圍んで嫁探しをしてゐる青年の座談會

片岡鐵兵先生 武漢戰線感激點描

可愛い子供毛糸帽子とケープ二十種

姑に「婦倶」讀んでやるいゝ嫁ご（良輔）

暗黒に泣く人、悲しい身の上に惱む人はどうすればよいか 蓮沼門三、小林一郎、高神覺昇の三先生が一々直接に會つてお話を聞く樣に、温いお心で沁々敎へられた座談會!!

面白さ日本一!! 全婦人熱狂の傑作小説陣!!

現代小説 **女性の戰ひ**（菊池寛）

現代小説 **四季の夢**（片岡鐵兵）

悲劇小説 **涙の責任**（竹田敏彦）

現代小説 **黑潮**（川口松太郎）

悲劇小説 **春雷**（加藤武雄）

時代小説 **江戸長恨歌**（吉川英治）

現代小説 **愛の迷路**（田中純）

諧謔小説 **男性觀訂正**（鹿島孝二）

特價九十錢（送料十九錢）

東京・小石川 **大日本雄辯會講談社**（振替東京三九二〇）

國軍かくて強し
合格を泣いて歎願
各地に力強い募兵美談

明後年から實施される國軍徴兵制度を前に國民の力強い募兵美談の數々が、國軍かくて強しの感を深からしめてゐる

□

【その一】―本月初旬興安軍管區の蒙古人募兵の際、興安南省通遼縣下のラマ名刹莫力廟から十數名の青年ラマ僧が大量志願し、合格者は歡呼の聲に送られて勇躍錢家店の甘珠部隊に入隊した、廟内ラマの然もかゝる名刹から多數の志願者を出したことは稀有のことで入隊した○○僧はわれ等ラマ僧は蒙古民族の指導階級だと信じてゐる、民衆が率先して國軍に投じつゝあるにわれ等のみ法城に安閑たるを得ない、國家の敵たる匪賊、赤魔に對し膺懲の劍を揮ふのも亦われ等の責務と信じます と力強い志願の動機を語つて募兵官を感激させた

□

【その二】―去る十八日奉天○○部隊での募兵檢査に不合格者の李成久(二〇)ほか三名は何時かな檢査場を去らうとせず係官に 昨年の募兵にも不合格で今年もまたでは村へも歸れぬと熱誠溢るゝ面持で歎願したが、係官から徴兵制度實施まで身體を鍛へて應募せよと訓されて漸く歸郷した

□

【その三】―興安南省庫倫旗下で廿二、三の兩日施行した募兵檢査では三、四日もかゝる遠路を駱駝や馬の背にゆられて來た者をはじめ二百數十名の應募者の大半が父兄に附添はれて集合、不合格者の父兄が泣いて歎願するなどの熱意を見せた、治安部から視察に赴いた某軍官が感歎してその理由を一老人に訊ねたところ われ等蒙古人は成吉思汗の昔から尚武精神が盛んで國防、郷土防衛に對する傳統的精神を有してゐるのに建國以前の軍閥政府はわれ等のこの精神を容れざるの政策を取つてゐたので大いに不滿であつた、新國家成立と共に皇帝陛下の軍隊として應募出來るのは、誇るべき傳統精神を發揮する好機會と斯く應募者が殺到するのだ と答へた

□

【その四】―興安西省林西で去月末行はれた募兵の際壯丁年齢に達せず不合格となつた蒙古少年胡斯勒台(一六)は翌日興安軍司令部に血書志願書を提出、採用されねば歸郷せずとの固い意志を吐露して困らせたが、司令部參謀長中野中校に訓されて漸く歸郷した又吉吐格樂吐(二〇)は「居村からの應募者では自分のみ不合格となつたが何の面子あつて歸郷出來やう」と採用方を歎願、これも訓されて明年應募する事に納得歸郷した

生活問題を爼上に
首都聯協幕開き
議長に岩間氏 副議長に朴、孫兩氏
第一日日程に入る

本年暮も押しつまつて國都市民生活上緊急なる諸問題を爼上に乘せた本年度臨時首都聯合協議會は二十三日午後三時より東三道街首都本部會議室で開かれた、定刻于首都本部長開會宣言の後、說明委員各代表全員國旗に對し敬禮を爲し、滿洲國歌合唱、于首都本部長、松木事務長が夫々日滿語で勅語を捧讀、松木事務長が會務報告、首都聯合協議會經過並に處理報告を爲し、第二部に入り、本部長より代表氏名の點呼を爲し、第七連絡幹事會關口、第五連絡幹事會酒本、西廣場分會早川三氏缺席、出席代表全部で四十七名ついで同じく本部長より議長副議長を推薦滿場一致で議長には岩間甲斐之助氏、副議長には朴準秉氏、孫化南の兩氏が夫々決定、挨拶を爲し松木事務長議案整理經過を報告、議長代表間に協議會開催問題について二、三問答あり松木事務長立つて協議會の機能を最高度に發揮すべく來年より年四回の見當で協議會を開催し來春二月には今回提出議案中五件を上程審議するつもりであると當局の意向を說明、五時より同會議室に於て引續き官民懇談會に入り、關屋副市長、田村首都警察廳副總監稅捐局池田理稅官その他協和會側よりは于本部長始め各職員、委員等出席のもとで官民忌憚なき意見を交換し當局の意向說明に依り充分宣德の實をあげ午後六時過ぎ第一日を終了した、第二日は午前九時より同會議室で開會劈頭より議案の審議に入り一氣に十件を審了する運びとなつてゐるが經過は左の如くである

1、議案審議2、晝食休憩3、議案審議(午後一時)4、閉會挨拶(首都本部長)5、滿洲帝國萬歲6、國旗に對し敬禮7、解散(午後五時)【寫眞は協議會第一日】

整理議案五十六件
松木委員長の經過報告

松木議案整理委員長の經過報告概要は左の如くである

提出議案總件數は百六件内整理議案件數は五十六件で本聯合協議會上程案件數は十件二月十日頃再開の聯協に五件上程、文案回答議案件數は四十一件で、二月再開迄休會の形式をとり、特に緊急なものゝない限り議案數は追加せぬ方針である

各省豫算會議

政府は明年度各省地方費運用の徹底を期するため廿三日午前十時から國務院會議室で省長官以下各省經理、庶務の關係科長四十餘名出席し内務局御影池豫算會議を開き、左の政府指示事項につき協議を遂げ第一日を終つた、二十四日も續行の筈

一、省地方費主計事務所管變更に關する件　一、興安省に地方費を設け充實に關する件　一、省地方費運用に關する件　一、地方費豫算編成に關する件　一、康德六年度豫算編成上特殊注意事項に關する件　一、財政計畫樹立に關する件　一、地方財政監督に關する件

紋付花は廢止
非常時花街の新年

戰捷の春は目睫に迫りつゝあるが、門松に新春を壽ぐ正月三日間乃至五日間花柳界では傳統的に藝者は紋付に着飾つて花代も紋付花として常よりも何割か增した特殊な花代によつてゐた、然し國都花柳界大新京檢番、新京檢番、新京料理店組合では自肅自戒の時局に鑑みかうした傳統にとらはれず來る春も例年に準じて紋付花を平花に紋付着用もこれを通常着のまゝとして華美に流れる一切の行事を廢しひたすら時局の線に沿ふことゝなつた

新入學申込受付けは 二月中旬から
學校組合、市公署內へ移轉

新京特別市學校組合では滿鐵支社の借家住ひを一月中旬引拂つて市公署內に移轉することになつた、このため例年一月上旬から受付けてゐた新入學兒童の入學申込みは二月中旬から組合並に最寄各學校で受付ける筈で、各家庭からの申込については戶籍抄本を早く取寄せて手續きを遲れぬやう組合で希望してゐる

北京に華北事情案內所新設

北支に對する世人一般の關心が最近急速度に昂まり、新大陸開拓の渡支視察者が加速度的に增加してゐる現狀に鑑みこの度北京市東城王府井大街金城大樓內に華北事情案內所が新らしく設置され公益的事情紹介機關として世人の要求に應ずることゝなつた

同所の業務とする所は、北支方面に於ける產業、經濟貿易、企業、民情、風俗其他各般に亘る現地の實情を利用者のために一切無料にて諸般の便宜を供與するので、印刷物の刊行によつても諸事情を紹介しつゝあり既に北那事情解說版(へ北支現狀を語る)其他各種の出版物調查資料等を無料で配布してゐる

●京城齒科醫專卓球チーム

京城齒科醫專卓球チームは來る二十六日早朝新京驛着で來征するが、廿六日より三日間にわたり新京の覇者電々をはじめ電業、總務廳などゝ試合する筈である

≡企畫處國策映畫に乘出す≡
殉職日系官吏に取材
犧牲精神を謳歌
主役候補に阪妻、千惠藏、月形

企畫處においては豫て國策映畫作成につき考究中であつたが、今回弘報處指導の下に滿洲映畫協會を主體として愈々國策映畫を作成することゝなつた

映畫は滿洲國建國當時の大同二年六月滿洲國官吏清水警務指導官及び友田參事官の殉職をテーマとしたもので、滿、支人に映畫を通じて日本人の犧牲的精神を認識せしめんとするものであつて、日滿兩國語版を作成し日本及び滿支において上映されるものである

而してこれがシナリオは一月中に完成、二月より大々的現地ロケーションを開始して四月末に完成し 月上旬より上映の運びとなる見込みである

なほこれが製作費は十萬圓全十卷以上に達する筈で俳優は目下選定中なるも片岡千惠藏、月形龍之助、阪東妻三郎等より適任者を選定出演せしめる運びとなる模樣である【寫眞は主役候補の阪妻、千惠藏、月形】

日滿滑氷大會 準備委員會
日本スケート界の代表を迎へ

一月二十八、二十九兩日兒玉公園スケート場に於て盛大に舉行される日滿交驩滑氷大會は本シーズン中の超豪華大會とファン待望の的であるが體聯新京事務局滑氷部では廿日午後一時より市公署會議室に再度大會準備委員會を開き會場設備員の配置等を協議し大會進行の萬全を期してゐる

車中の元旦
總局、お雜煮サービス

お正月を旅先の汽車の中で迎へる旅客のため鐵道總局旅客課では元旦サービスとしてあたゝかいお正月の雜煮を無料で振舞ふことになつた、この旅客課の心盡しのサービスは大晦日に大連を發車する浦京線急行一五、一七、一九、二一、二三の各列車を初め哈爾濱發上り一六、一八、二〇、二二、奉天發北京行急行四〇一、四〇三、鮮滿支直通下り九列車の外全滿主要列車の各食堂車で行はれるが、この新しい試みは家族連れの乘客に對し正月氣分を與へるものと好評を博してゐる

商業移民の收容は可能
工業委員會續開

新京商工公會では廿三日午前十時から同公會に工業委員會を開き轉業對策として日本において考慮せられつゝある中小商工業者の滿洲移住問題について前日に引續き懇談を遂げたが、右兩日に亘る會議において行はれた各委員の主張を綜合するに大體左の通りである

一、商業移民については從來存在する各種組合との摩擦を避けることを前提とし移民地に入植せしめるか或は既に習得したる商業知識を活用する意味で、既存の各地店舖に就職せしめるとすれば相當數の收容は可能と認められる

一、工業移民についても土地並に資本の點において補助獎勵をなす時は大體定着して業を營むは難事と認められず例へば鍛冶職、石鹼製造、莫大小製造、小機織業者、自轉車修繕工、硝子職蹄鐵業等の滿洲移住は寧ろ滿洲の一般產業振興のためにも必要視されるものである

なほ同公會では更に右商工移民問題に示された各種意見を職員會にとり上げ、再檢討を加へる後、更に二、三回商業工業各委員を開催し政府に意見、具體案を提出し政府の右對策に對する側面的援助に資することゝなつた

戰線に贈る新春用品
年の內に配給
兵站部大汗ダク

【漢口廿三日發國通】戰塵渦巻く前線にもお正月が訪れんとしてゐる、勇士を喜ばすものは何れも故國のお正月を偲ぶお祝ひ用品とあつて兵站部では暖かい心遣りからもあれこれと內地から大量に取寄せてゐたが、この程どつと基地に到着したので每日每日前線へ朗かな積出しを行つてゐる、これは最前線で警備の重任に當つてゐる步哨に至るまで年內に屆けようと言ふので輸送隊では今大童の活動を續けてゐる、しかし何事も軍隊式で兵隊さん一人宛ての定量が總べてグラムで決つてゐる

口取り罐詰百五十グラム、祝賀用品(スルメ、勝栗、昆布、羊羹)百九十グラム小豆三〇グラム、鹽鮭三〇グラム、田作一〇グラム、林檎一個、清酒二合二勺、糯米一キログラム、餅取粉一〇グラム、これだけ揃へばざつと陣中の新春も本格的で門松と七五三飾は宿舍每に既に整つてゐる

軍犬本部新京に

國內軍用犬の增殖と素質向上を目的に結成され遼陽に本部を置いた滿洲軍用犬協會では非常時下における軍用犬の重要性に鑑み、近く機構の改革を斷行するとゝもに本部を國都新京に移轉し、康德六年より向ふ十ケ年に五萬人の會員と軍用適種犬十萬頭を獲得する計畫を樹立することになつた、右具體化に關し協會では來春匆々國務院會議室に役員會を開催する

滿洲採金本格的活躍へ
四千萬圓に增資

增資ならびに草間前理事長辭任によつて缺員中であつた理事長を決定すべき滿洲採金會社臨時株主總會は廿三日午前十時より新京本社で開催、從來の資本金千二百萬圓を四千萬圓に增資の件を可決後、缺員中の理事長には滿場一致現同社理事石川留吉氏が選任され、同氏昇格に伴ふ理事補缺並びに增員理事には同社鑛務課長岡野精之助氏、鑛業監督廳庶務科長赤瀨川安彥氏がそれぞれ決定した、增資內容は大要次の通りである

現在資本金は千二百萬圓(二十四萬株)でこれが內容は政府十萬株、滿業十萬株、東拓四萬株であつたが今回二千八百萬圓五十六萬株の增資を行ふことゝなり右增資全額は政府に割當てられた結果政府持株は六十六萬株と絕對過半數を占めるに至つた、尙右增資株の拂込は明年一月中旬の豫定である、右は同社では曩に廿九隻の採金船を日本に向け發註し、既に中一、三隻は到着、採金に當つてをり殘り全部も明年中には現地に据付けを終る豫定となつてゐる、又一方山金の採掘も樺甸、穆稜、磐石の三ケ所において豫行中であるがその前途は極めて有望視されるに至り、砂金、山金併行による同社の事業も愈々本格的軌道に乘る增產計畫が具體化されるものと期待されてゐる

滿洲畜產增資決定

滿洲における牲畜事業を一手に分擔する滿洲畜產では同社業務擴充のため從來の資本金五百萬圓を一擧三倍の千五百萬圓に增資の方針を決定、既に增資分一千萬圓(四分の一拂込)の政府引受に要する政府の認可も得たので同社では二十三日午後三時より康德俱樂部に臨時株主總會を開き會社法第二百十八條による增資報告を行ひこれを正式決定した、同社は既に奉天における畜產工業を傘下に收め、更に在哈爾濱畜產加工所の合併をも企圖し、最近は兩者間の折衝も進捗し遲くも明年五月末を以て同所の合併は實現するものと見られ、同社の全滿畜產事業統一は今回の增資により更に拍車をかけるものと見られる

國際懇談會每月第三月曜日に

在京外國公館首腦部及び著名實業家と滿洲國官民有力者の懇親を目的とする新京國際懇話會は十二月十九日第一回定例晚餐會は非常な盛會裡に終つたが、來月より每月第三月曜日午後六時半から中銀俱樂部で開催することになつた

訂正

二十一日附本紙夕刊所載日露不良少年團記事中團長バーチヤ靴店內オロシオミエロシテチエンコ(二〇)とその兄ヴイタリー(二四)とあるは松田及びユウラの出鱈目申立てによるもので同事件には何等關係なく非常に迷惑してゐる旨ヴイタリー氏より訂正方申出があつた

日本へ留學することになつた滿鐵の小泉吉雄君▼今度の研究テーマは統制經濟についてゞあるらしいが、最近數年は籍は滿鐵に置き乍ら專ら移民事業關係の調查に當つて隱れた貢獻あつたもの▼いま現實に移民計畫の着々たる進展を見ながら暫く滿洲を去るに當つても充實した回顧感があらう▼その體軀近來大いに重厚味を示してゐるが日本に行つたらまた大いに頭腦をも膨らまして歸ることであらう、君を識る者の期待をこゝに代辯して置く

天氣
けふの天氣　北西の風晴
きのふの氣溫　最高 二度七　最低 一六度八

若殿膝栗毛 (二百十三)

(上演上映) 中川雨之助 竹政一郎畫

彼女を斬れ

「それで困て、貴公を怨むのは逆怨みでないか」

「そのほかには、何も怨まれる覚えはありません」

「さうかなあ……」

なんだか奥歯に物のはさまつたやうな末次老人の態度を、軍平は怪しからんと思つた。

「拙者と、お銀のことに就いて、何んかお耳に入れたものでもありますか？」

「有るやうでもあり、無いやうでもあり、はゝゝゝゝ」

老人は笑つた。

嘲けられてゐるやうで、軍平は不愉快だつた。

その時、不圖彼の心に浮んだのは混血児女品乃のことである。どういふのか、彼女を、軍平は虫が好かなかつた。

「彼奴め、あることとないこと老人に吹込んで、俺を中傷するのぢやないか」

とさう思つた。

假に品乃が、中傷したとして、老人までが、實否を糺しもしないで、只むやみにそれを信じて居るらしいのが、面白くなかつた。

自分獨りだけ、継子扱ひを受けてゐるやうな淋しさを、軍平は感じた。

と、末次老人は、重ねて思ひ出したやうに、

「それと、これとは、話が違ふが、あの香島といふ女、あれは、貴公を、親の讐とつけ狙ふ高崎浪人花房英之助の嫁ださうな」

「左様。その通りです」

「あの女は、いま何處に捕へてある」

「二番の穴倉から移して、千蔵の二階に入れてあります」

「斬つてしまはう」

突然きつぱりと、一黨の首領らしい厳かさを示して、老人は言つた。

「えッ？」

暴には軍平、不意を討たれて、眼を丸くした。

「その役は、是非貴公に勤めて貰ひたい。つまり貴公の手で、返討にしてしまふのだ、誰よりも貴公が、最適任者だ」

疊みかけられて軍平、あゝも、かうも言ふ遑が無かつた。

しかし、厭とは云へなかつた。が、どうしても斬る氣にはなれなかつた。

「どうぢや、斬るか。貴公がいやなら、他の者に命ずる」

老人の言葉に、軍平いよ／＼愼とした。何處までも、疑はれてゐるのだ……口惜さが、激しく込み上げて來た。

「よろしい、斬ります」

キッパリ、引受けてしまつた。

まつたく、さう言つてしまはねばならない羽目だつた。

「うむ、斬つてくれるか。や、御苦勞々々。それも、なるべく早いが宜いな。長七郎が、手出しをしないのは、香島といふ人質があるからだ。だから香島を斬ると同時に、われ／＼一黨も、この界に見切をつけて、長崎へ引揚げるのだ。香島の首を、長七郎への置みやげに叩きつけて置いて、引揚げるのも愉快な話ぢやないか、はゝゝ」

老人は愉快さうに笑つた。

軍平は笑へなかつた。

毒でも舐めたやうに苦り切つてゐた。

そして彼は、重苦しい心を抱いて、老人の居間を辞した。

廊下へ出た途端に、チラと植込みに潜んだ人影。どうやら品乃のやうである。

「やつぱり彼奴の小細工だ」

軍平、眼を角にして、忌々しげに舌打ちした。

大連の總本店に 近江洋行が愛國公債付商店協會謝恩大賣出しに參加